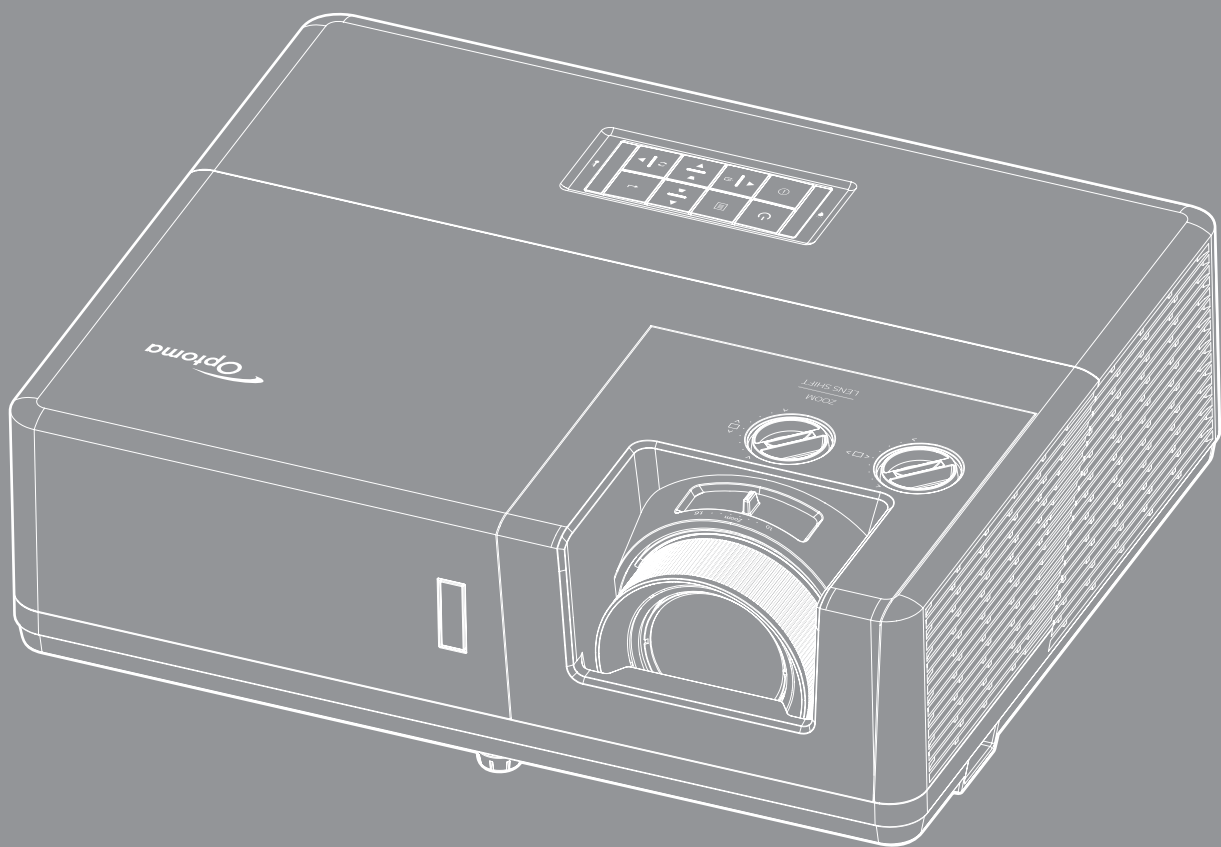




DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル

4K
Compatible

HDR
Compatible

3D
Full

4K HDBT³ HDMI CRESTRON CONNECTED **Link**

Extron
iP LINK
CERTIFIED

DLP
TEXAS INSTRUMENTS

目次

安全 4

安全に関するご注意.....	4
レンズの清掃.....	6
レーザー放射安全情報.....	6
著作権.....	7
免責条項.....	7
商標認識.....	7
FCC.....	7
EU 諸国への適合宣言.....	8
WEEE.....	8

はじめに 9

パッケージの内容.....	9
標準アクセサリ.....	9
製品の各部名称.....	10
接続.....	12
キーパッド.....	12
リモコン.....	13

設定と設置 14

プロジェクターを設置する.....	14
ソースをプロジェクターに接続する.....	16
投影画像の調整.....	17
リモート設定.....	20

プロジェクターを使用する 22

プロジェクターの電源を入れる/切る.....	22
入力ソースを選択する.....	23
メニューナビゲーションと機能.....	24
OSD メニューツリー.....	25
イメージメニュー.....	32
ディスプレイメニュー.....	36
設定メニュー.....	39
入力メニュー.....	41
オーディオメニュー.....	43
コントロールメニュー.....	44
情報メニュー.....	55

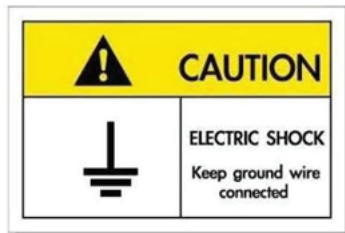
追加情報 56

対応解像度.....	56
プロジェクターの寸法と天井取り付け.....	64
IR リモートコード.....	65
トラブルシューティング.....	67
警告インジケーター	69
仕様.....	70
Optoma 社グローバルオフィス.....	72

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



- ・ 感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。
- ・ この装置には、3 ピン接地タイプの電源プラグが装備されています。
- ・ 電源プラグの接地ピンを取り外さないでください。
- ・ これは安全機能です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気技師にお問い合わせください。
- ・ 接地プラグの目的を無効にしないでください。

安全に関するご注意



- ・ あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- ・ このプロジェクターは、IEC/EN 60825-1:2014 およびリスクグループ 2 のクラス 1 レーザー製品であり、IEC 62471-5:2015 の要件を備えています。
- ・ お子様の監視: 凝視しないこと、光学補助具を使用しないこと!
- ・ お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。
- ・ 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ・ ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。
- ・ 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒータースタンドや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- ・ 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- ・ プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- ・ 以下のような環境下では使用しないでください。
 - － 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - (i) 室温が 0°C ~ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
 - (ii) 相対湿度は最大 80% です
 - － 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - － 強い磁場が集まる装置の傍に置く。

- 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです (ただしこれらに限定されません):
 - 装置を落とした。
 - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
 - プロジェクターに液体をこぼした。
 - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
 - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本プロジェクターの修理は、認定されたサービススタッフのみに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 本プロジェクターは、光源の寿命を自動的に検知します。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 間違ったタイプの電池に交換すると火災や爆発の危険性があります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。



警告: レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。



警告: レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。



警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

レーザーに関する通知

IEC 60825-1:2014/EN 60825-1+A11/EN50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62471-5:2015 リスクグループ 2。

この製品は民生用レーザー製品としての使用を目的としており、EN 50689:2021 に準拠しています。

クラス 1 民生用レーザー製品

EN 50689:2021

レーザー放射安全情報

- IEC 62471-5:Ed.1.0 で定義されているリスクグループ 2 LIP としての適合性を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。
- IEC 60825-1:2014/EN 60825-1+A11/EN50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62471-5:2015 リスクグループ 2

IEC 60825-1:2014, EN 60825-1:2014+A11:2021, EN 50689:2021 CLASS 1 CONSUMER LASER PRODUCT RISK GROUP 2, Complies with 21 CFR 1040.10 and 1040.11 except for conformance as a Risk Group 2 LIP as defined in IEC 62471-5:Ed.1.0. For more information see Laser Notice No. 57, dated May 8, 2019.
IEC 60825-1:2014 等級1雷射產品RG2危險等級
IEC 60825-1:2014 1类激光产品RG2危险等级

- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見れる投影範囲に人がいないことを確認してください。
- プロジェクターの光路に物 (拡大鏡など) を近づけないようにしてください。レンズから投射される光路は広範囲にわたります。したがって、レンズからの光の向きを変えるあらゆる種類の異物が、火災または目の傷害などの予期せぬ結果を引き起こす可能性があります。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。

制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2023

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします：

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

はじめに

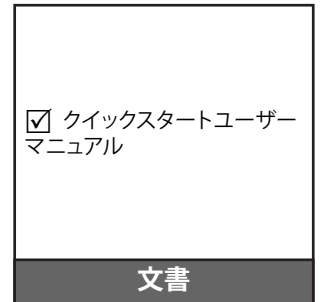
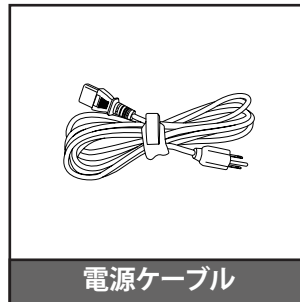
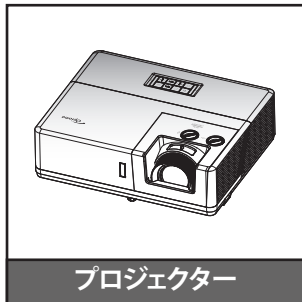
Optoma レーザープロジェクターをお買い上げいただきありがとうございます。機能の完全なリストについては、当社の Web サイトの製品ページにアクセスしてください。ここでは、FAQ の追加情報やドキュメントも掲載されています。

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下記に記載されている標準付属品がすべて揃っていることを確認してください。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

標準アクセサリ



注:

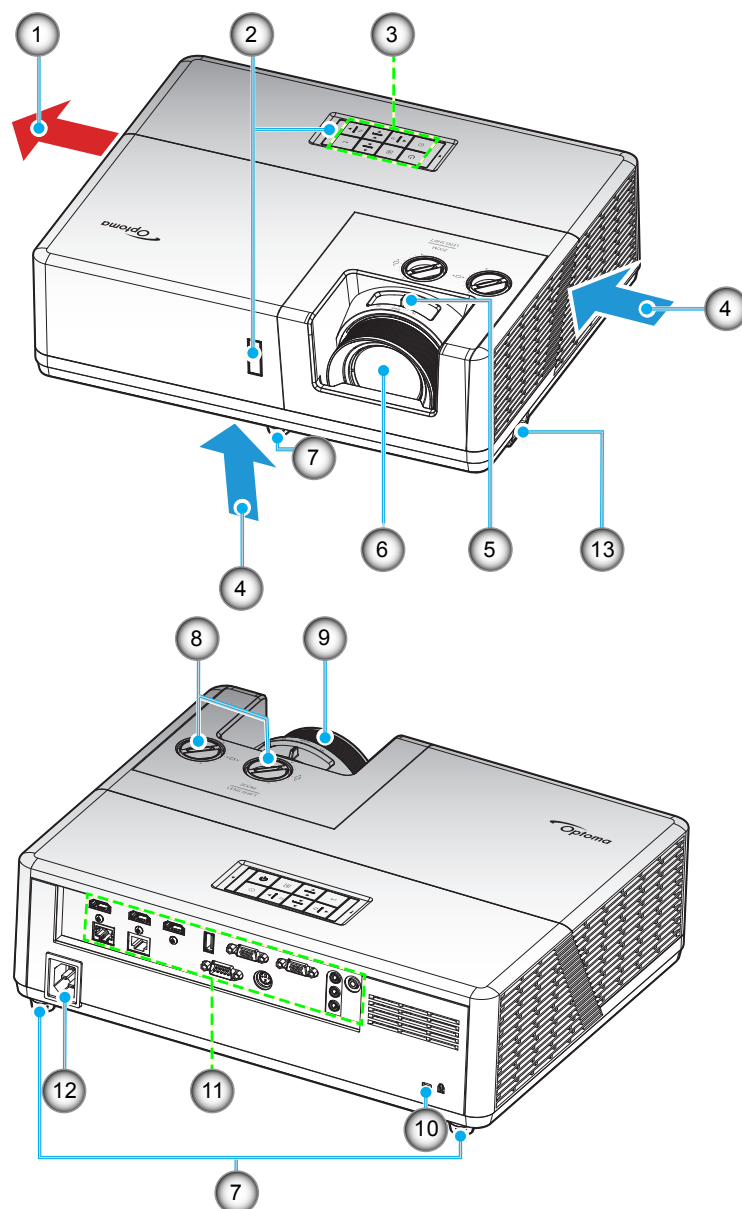
- 設定情報、ユーザーマニュアル、保証情報、製品の更新にアクセスするには、QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください。
<https://www.optoma.com/support/download>



はじめに

製品の各部名称

4K 1.6x レンズモデル



注:

- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間を空けてください。

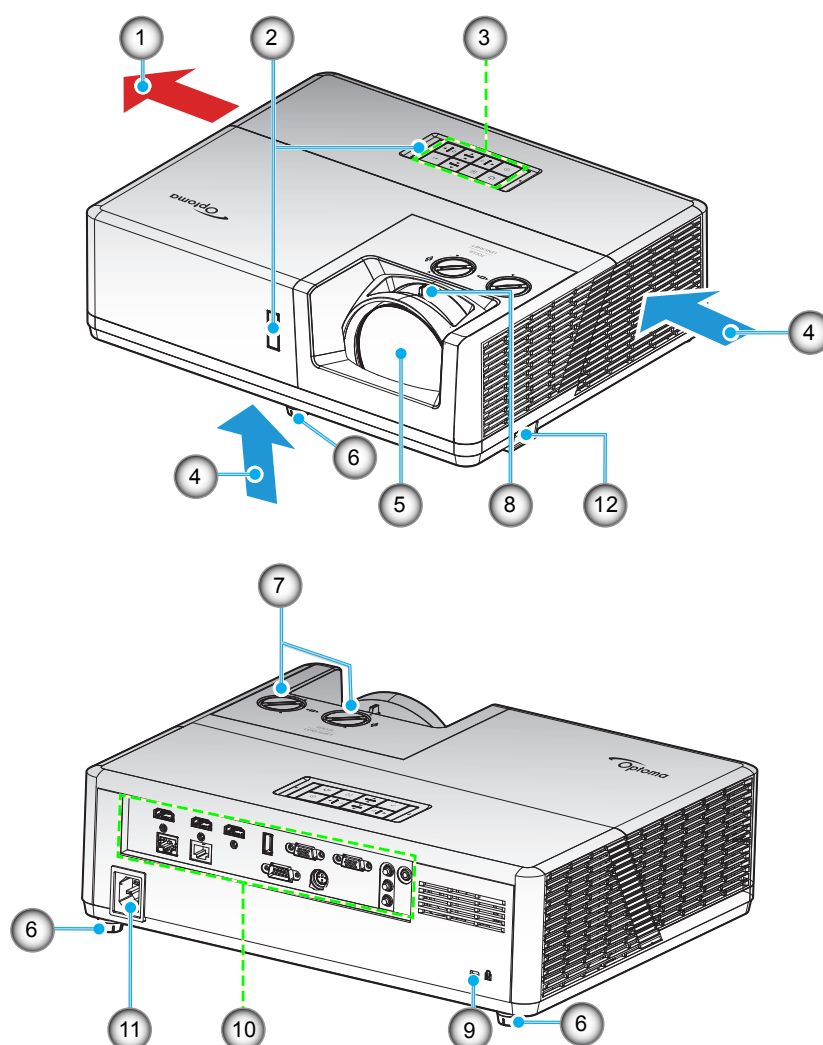
番号	項目
1.	換気 (排気口)
2.	赤外線レシーバー
3.	キーパッド
4.	換気 (吸気口)
5.	ズームレバー (*)
6.	レンズ
7.	チルト調整フット

番号	項目
8.	レンズシフトダイヤル
9.	フォーカス リング
10.	Kensington™ ロックポート
11.	入/出力
12.	AC ジャック
13.	セキュリティ バー

注: (*) 一部の固定ズームモデルは、ズーム調整機能に対応していません。

はじめに

4K 短焦点モデル



注:

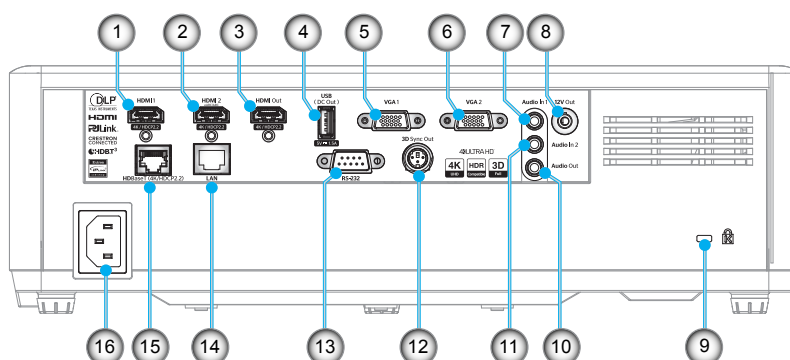
- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。

番号	項目
1.	換気 (排気口)
2.	赤外線レシーバー
3.	キーパッド
4.	換気 (吸気口)
5.	レンズ
6.	チルト調整フット

番号	項目
7.	レンズシフトダイヤル
8.	フォーカスレバー
9.	Kensington™ ロックポート
10.	入/出力
11.	AC ジャック
12.	セキュリティ バー

はじめに

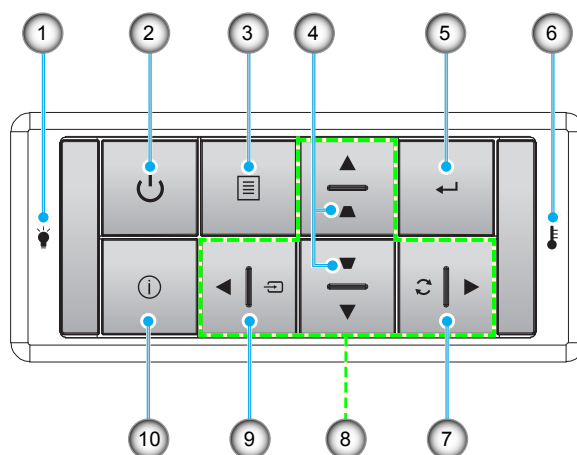
接続



番号	項目	番号	項目
1.	HDMI 1 端子	9.	Kensington™ ロック ポート
2.	HDMI 2 端子	10.	オーディオ出力端子
3.	HDMI 出力コネクタ	11.	オーディオ入力 2 コネクタ
4.	USB 給電出力 (5V=1.5A) 端子	12.	3D 同期出力端子
5.	VGA 1 端子	13.	RS232 端子
6.	VGA 2 端子	14.	LAN コネクタ
7.	オーディオ入力 1 コネクタ	15.	HDBaseT (4K/HDCP2.2) 端子
8.	12V 出力端子	16.	AC ジャック

注: 信号モードのサポートは、販売地域ごとにモデルによって異なります。

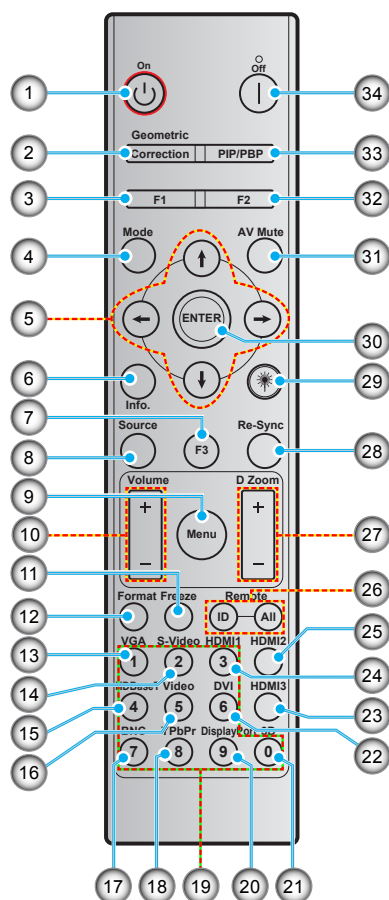
キーパッド



番号	項目	番号	項目
1.	LD LED	6.	温度 LED
2.	電源および消費電力 LED	7.	再同期
3.	メニュー	8.	4 方向選択キー
4.	キーストーン補正	9.	ソース
5.	入力	10.	情報

はじめに

リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	パワーオン	18.	YPbPr (未サポート)
2.	ジオメトリ補正	19.	テンキー (0-9)
3.	ファンクションボタン (F1) (割り当て可能)	20.	DisplayPort (未サポート)
4.	モード	21.	3D
5.	4 方向選択キー	22.	DVI (未サポート)
6.	情報	23.	HDMI3 (未サポート)
7.	ファンクションボタン (F3) (割り当て可能)	24.	HDMI1
8.	ソース	25.	HDMI2
9.	メニュー	26.	リモート ID / リモート全部
10.	音量 +/-	27.	デジタルズーム - / +
11.	フリーズ	28.	再同期
12.	フォーマット (アスペクト比)	29.	レーザーポインター (*)
13.	VGA	30.	入力
14.	S-ビデオ (未サポート)	31.	AV 消音
15.	HDBase-T	32.	ファンクションボタン (F2) (割り当て可能)
16.	ビデオ (未サポート)	33.	PIP/PBP (未サポート)
17.	BNC (未サポート)	34.	電源オフ

注:

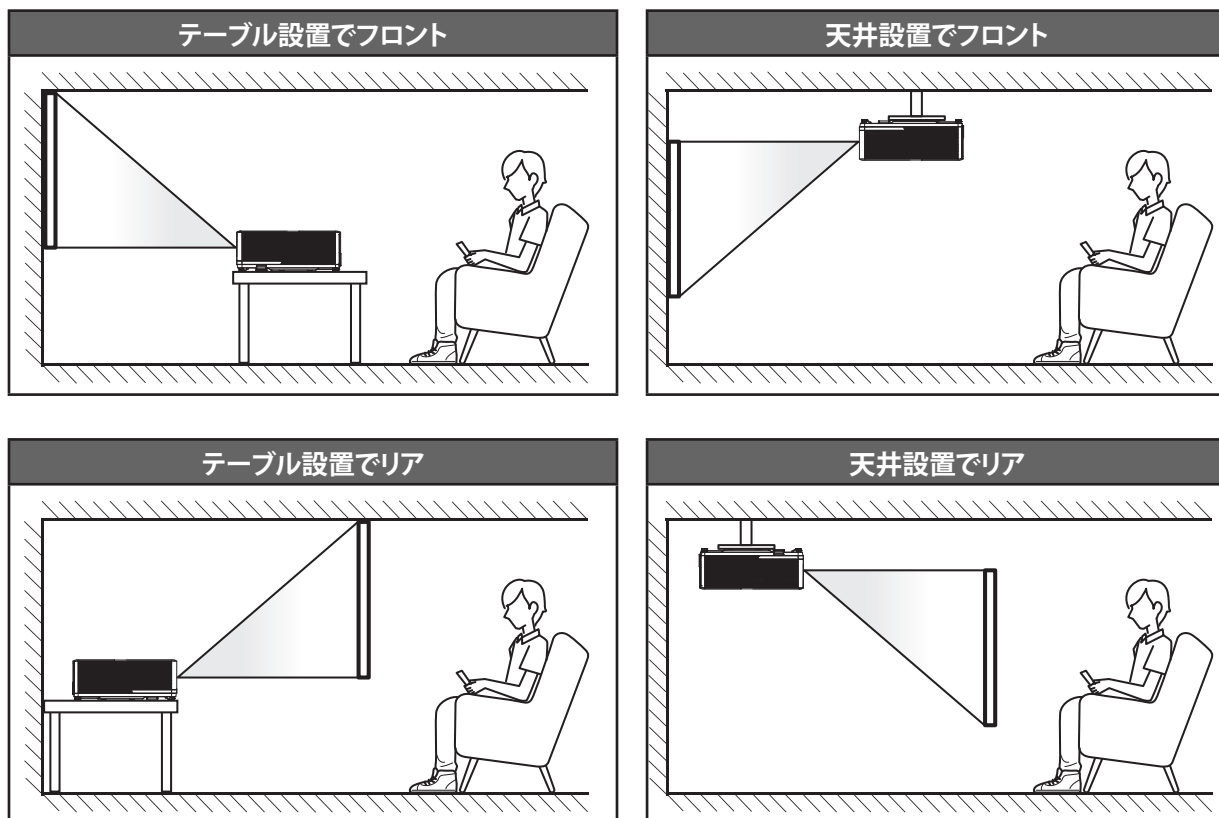
- これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。
- (*) 利用可能な機能は地域によって異なります。

設定と設置

プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4 つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

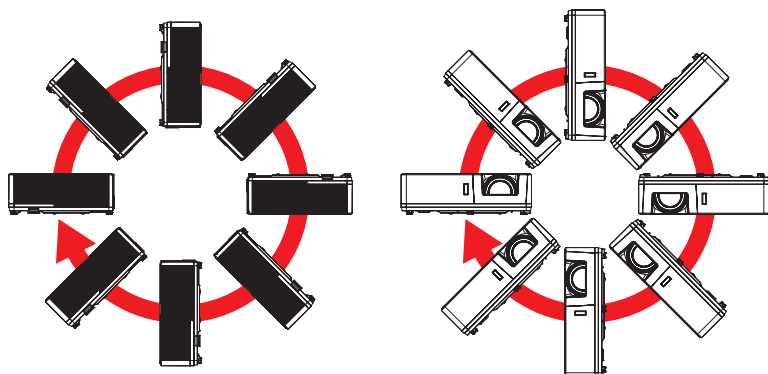
- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、61 ～ 63 ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、61 ～ 63 ページの距離表を参照してください。

注: プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投射される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。

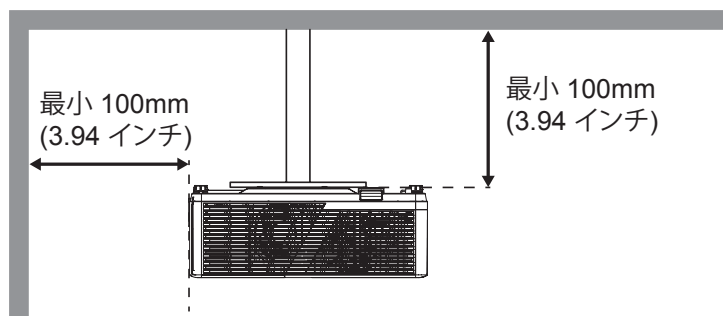
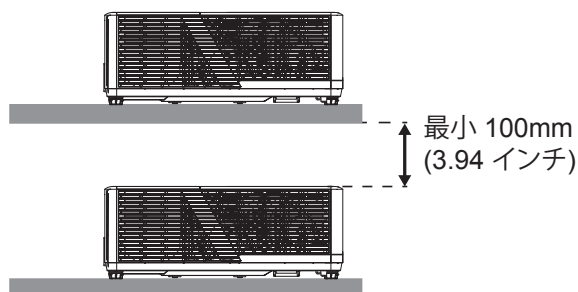
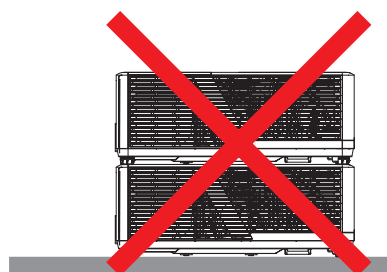
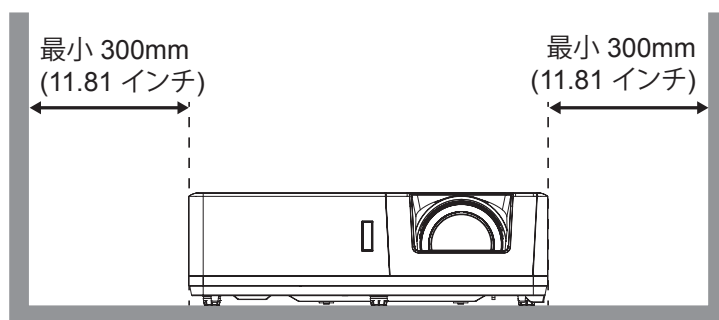
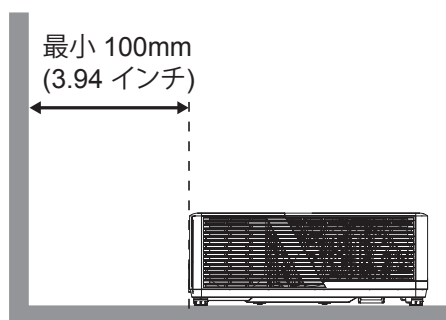
設定と設置

プロジェクターの取り付けに関する注意

- 360° の自由方向操作



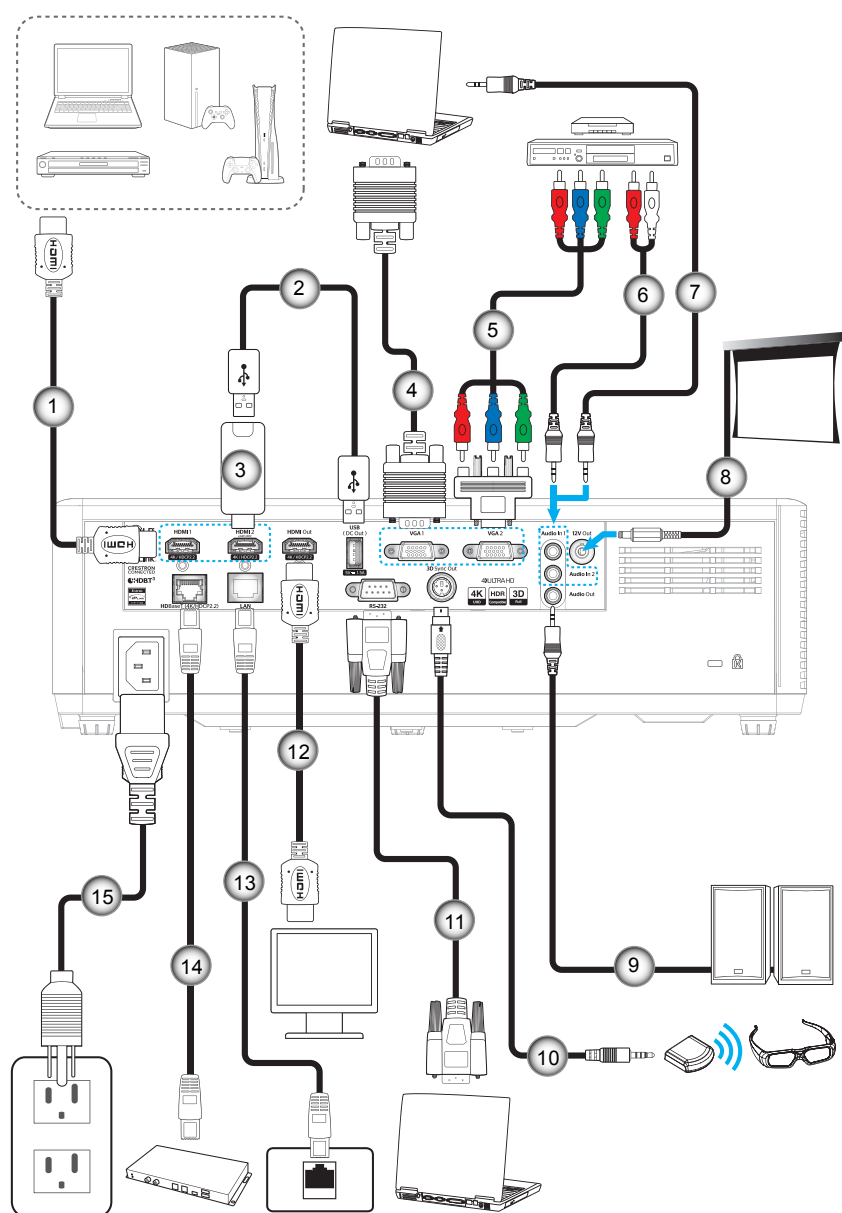
- 排気口の周囲に少なくとも 30 cm のスペースを確保してください。



- 吸気口が排気口からの熱い空気を取り込まないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクターを操作する場合は、プロジェクターが動作している間は、筐体内の周囲温度が動作温度を超えないようにし、吸気口と排気口に障害物がないようにしてください。
- エンクロージャの温度が許容動作温度範囲であっても、デバイスがシャットダウンする可能性があるので、プロジェクターが排気を取り込まないよう、すべてのエンクロージャは認定熱評価に合格する必要があります。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目	番号	項目
1.	HDMI ケーブル	9.	スピーカーケーブル
2.	USB 電源ケーブル	10.	3D エミッターケーブル
3.	HDMI ドングル	11.	RS232 ケーブル
4.	VGA ケーブル	12.	HDMI ケーブル
5.	RCA コンポーネントケーブル	13.	RJ-45 ケーブル
6.	オーディオ入力ケーブル	14.	RJ-45 ケーブル
7.	オーディオ入力ケーブル	15.	電源コード
8.	12V DC ジャック		

注: 最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、最大 5 メートルの高速またはプレミアム認定 HDMI ケーブルを使用してください。

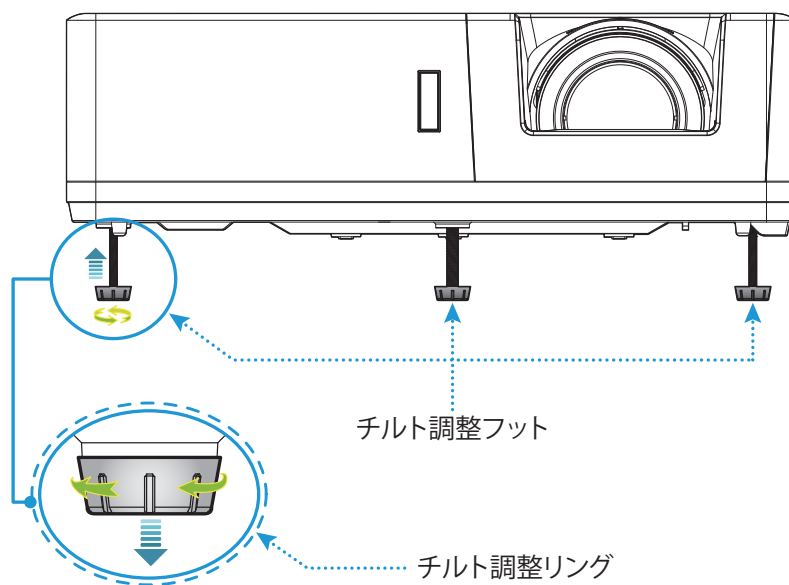
設定と設置

投影画像の調整

画像の高さ

本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。

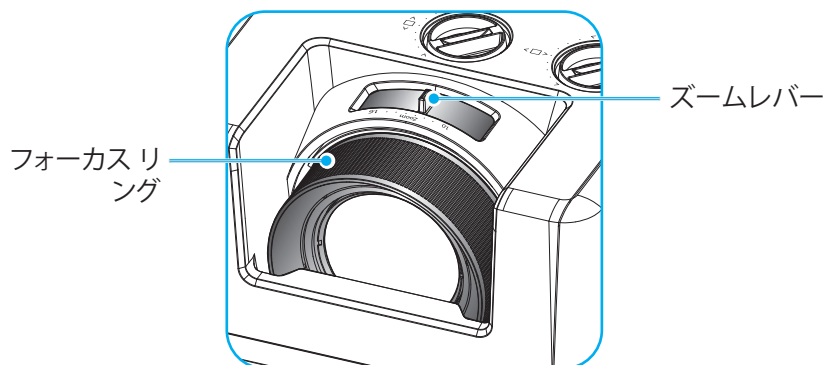


設定と設置

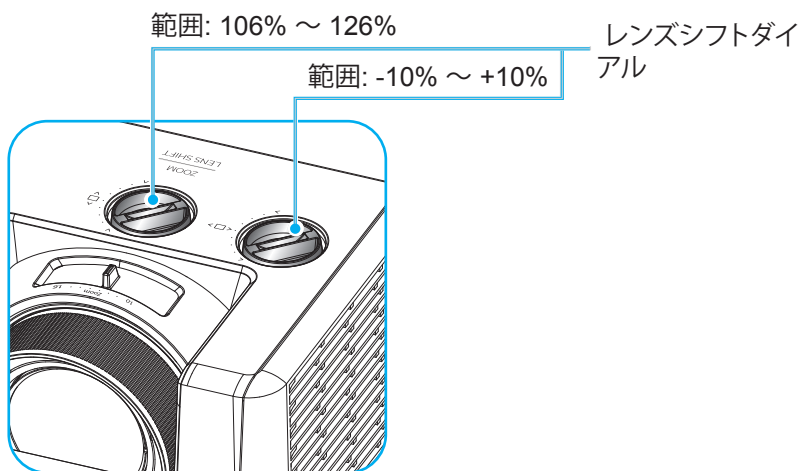
ズーム、フォーカス、レンズシフト

4K 1.6x レンズモデル

- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の大きくまたは小さくします。
注: 一部の固定ズームモデルは、ズーム調整機能に対応していません。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



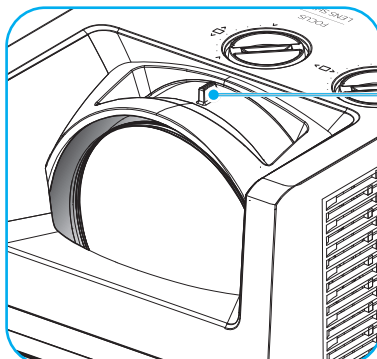
- 画像の位置を調整するには、レンズシフトダイヤルを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の位置を水平方向または垂直方向に調整します。



設定と設置

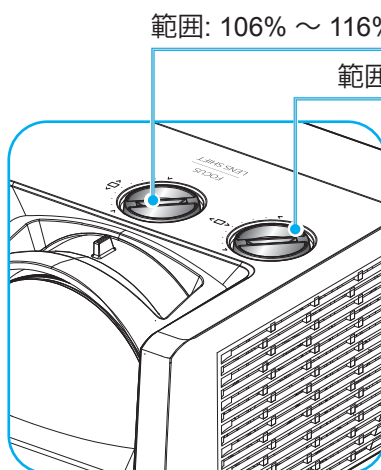
4K 短焦点モデル

- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



フォーカスレバー

- 画像の位置を調整するには、レンズシフトダイヤルを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の位置を水平方向または垂直方向に調整します。



範囲: 106% ~ 116%

範囲: -4% ~ +4%

レンズシフトダイヤル

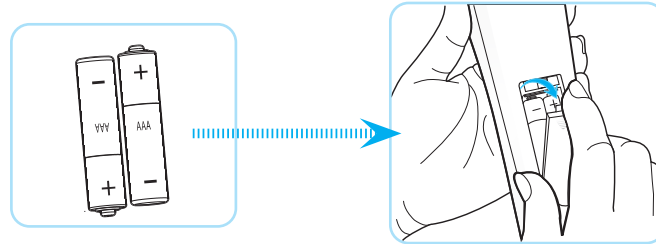
設定と設置

リモート設定

電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注: 交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。

注意事項: 安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

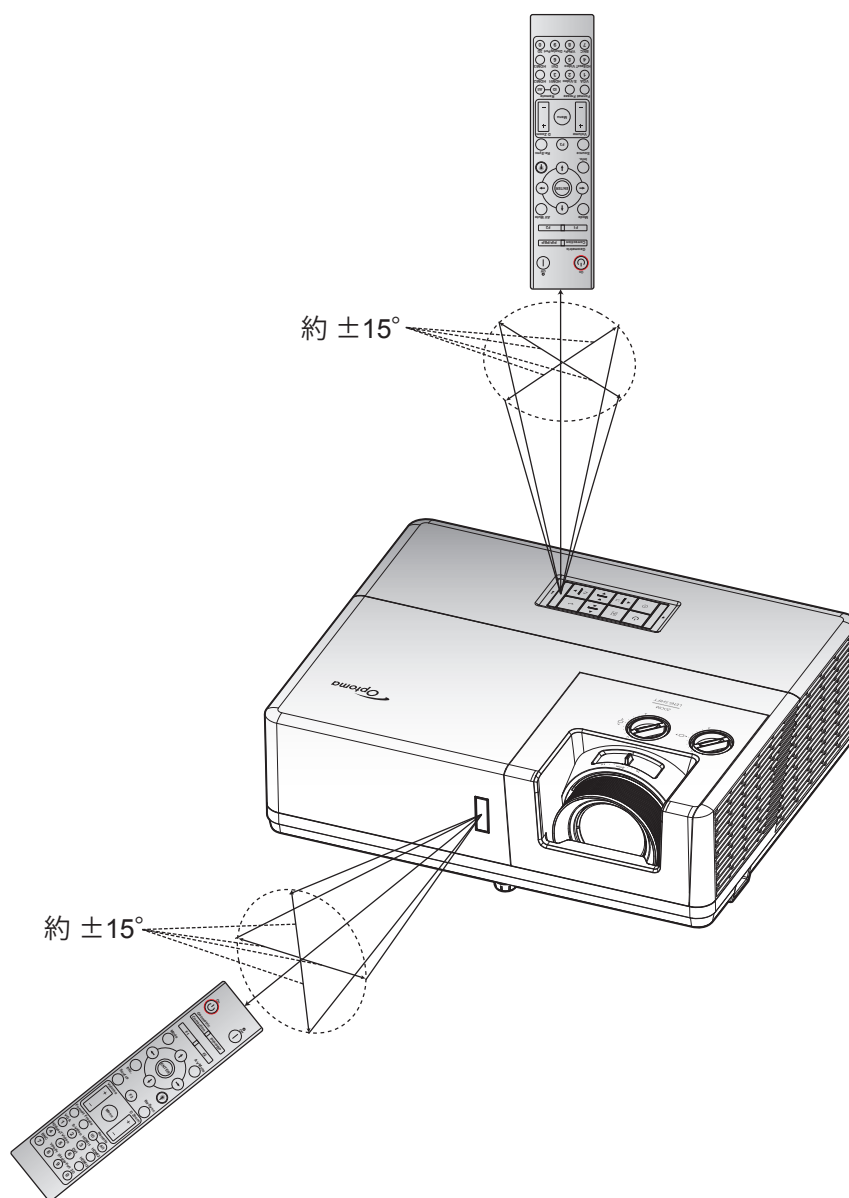
- 間違ったタイプのバッテリーに交換すると、安全装置が無効になる可能性があります (単 4 サイズのバッテリータイプに交換します)。
- バッテリーを火や高温のオープンに廃棄したり、バッテリーを機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発が起こる可能性があります。
- バッテリーを周囲温度が非常に高い環境に放置すると、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる可能性があります。
- バッテリーを極めて低い気圧に曝すと、爆発または可燃性の液体または気体の漏れを引き起こす可能性があります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。バッテリーから漏れた化学物質が皮膚に接触すると、かぶれを引き起こす可能性があります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- リモコンを長期間使用しない場合は、化学物質の漏れの危険を減らすために電池を取り外してください。

設定と設置

有効範囲

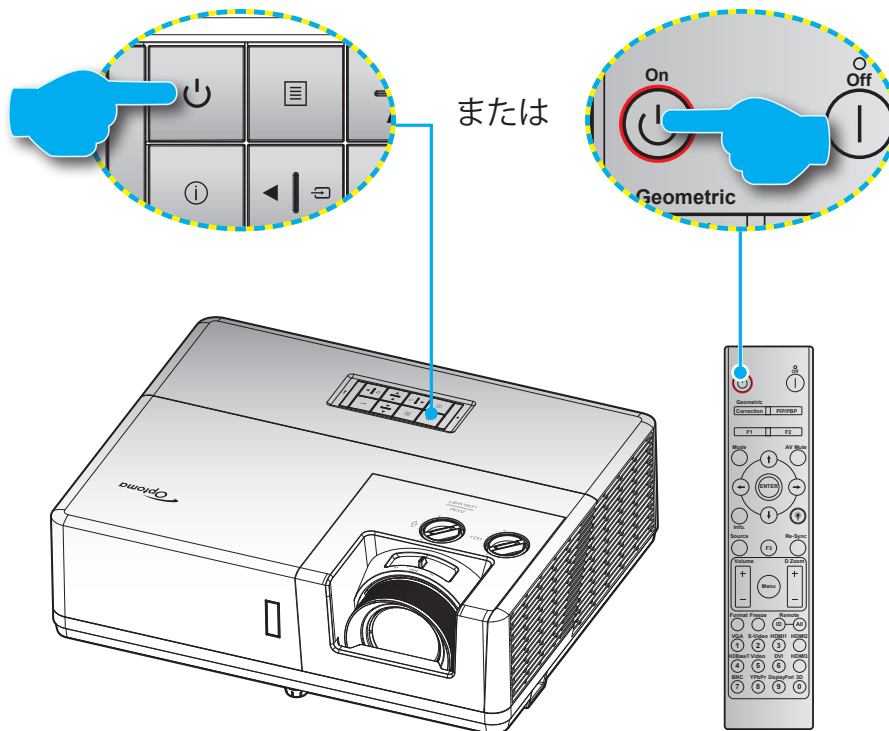
赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの上面と前面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は、 $\pm 15^\circ$ の角度で保持する場合は 6 メートル (19.7 フィート) 以内、センサーを 0° で向ける場合は 8 メートル (26.2 フィート) 以内にしてください。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 5 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



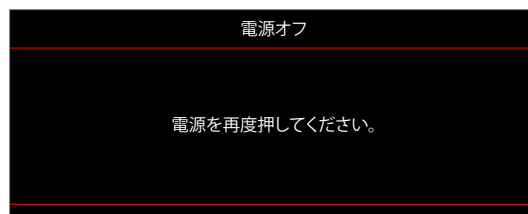
パワーオン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。正しく接続されると、電源 LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒後に表示され、電源 LED が白色に点滅します。

注: 初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投射方向、その他の設定を選択するように求められます。

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



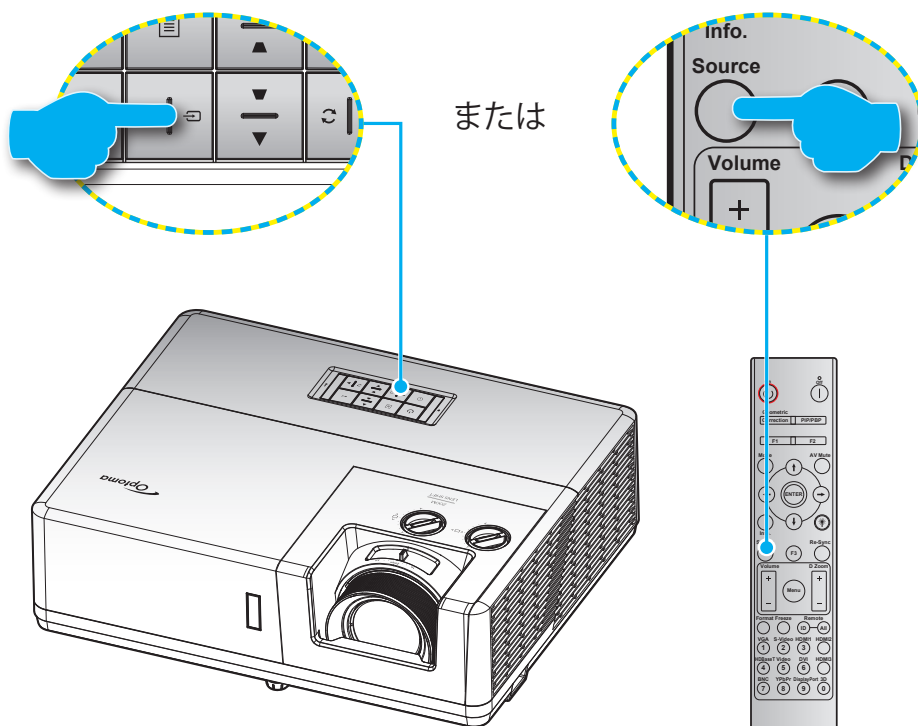
3. [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約 10 秒間作動し続けて冷却を行うと、電源 LED が白色に点滅します。電源 LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

注: 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターキーパッドの [⌂] ボタンまたはリモコンの [ソース] ボタンを押し、入力を選択します。

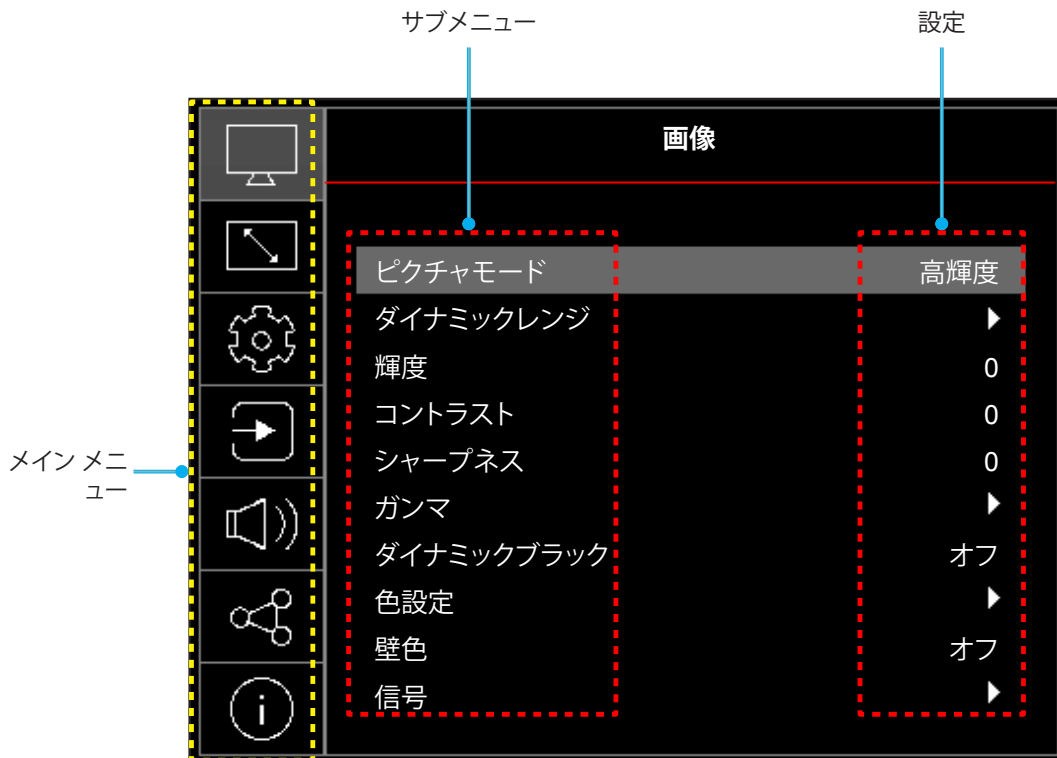


プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。

1. OSDメニューを開くには、プロジェクターキーパッドの **[OSD]** ボタンを押すか、リモコンの **[メニュー]** ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、**▲▼** キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページで選択するとき、プロジェクターキーパッドで **[←]** ボタンを押すか、リモコンの **[入力]** ボタンを押すと、サブメニューに入ります。
3. **◀▶** キーをつかって、サブメニューで希望のアイテムを選択し、**[←]** または **[入力]** ボタンを押して、詳細設定を表示します。**◀▶** キーによって設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. **←** または **入力** ボタンを押して確定すると、画面がメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 **[OSD]** または **[メニュー]** ボタンを押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

注: OSD メニューツリーの項目と機能は、モデルおよび地域によって異なります。Optoma は、製品の性能を向上させるため、事前通知なしに追加または削除する権利を有します。

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
画像	ピクチャモード				鮮明
					HDR
					HLG
					シネマ
					ゲーム
					リファレンス
					高輝度
					DICOM SIM.
					3D
	ダイナミックレンジ	HDR/HLG			自動
					オフ
		HDR 輝度			0 ~ 10
	輝度				-50 ~ 50
	コントラスト				-50 ~ 50
	シャープネス				1 ~ 15
	ガンマ				フィルム
					グラフィック
					1.8
					2.0
					2.2
					2.4
	ダイナミックブラック				オフ
					オン
	色設定	色			-50 ~ 50
		色合い			-50 ~ 50
		BrilliantColor™			1 ~ 10
		色温度			暖色
					標準
					高
					寒色
		CMS	色		白色 / 赤色 / 緑色 / 青色 / シアン / マゼンタ / 黄色
			色あい		-50 ~ 50
			彩度		-50 ~ 50
			輝度		-50 ~ 50
			リセット		いいえ
					はい

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
画像	色設定	色空間			HDMI 入力: 自動/ RGB (0-255)/ RGB (16-235)/ YUV
					HDMI 入力なし: 自動 / RGB / YUV
	壁色				オフ
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
	信号	自動			オフ
					オン
		周波数			-10 ~ 10 (信号に依存)
		位相			0 ~ 31 (信号に依存)
		水平位置			-50 ~ 50 (信号に依存)
		垂直位置			-50 ~ 50 (信号に依存)
	3D	3D モード			オフ
					オン
		3D 同期タイプ			DLP リンク
					3D 同期
		3D 映像フォーマット			自動
					サイドバイサイド
					トップアンドボトム
					フレームシーケンシャル
					フレームパッキング
		3D同期反転			オフ
					オン
		リセット			いいえ
					はい
	リセット				
ディスプレイ	光源モード				エコ
					電源 =100% / 95% / 90% / 85% / 80% / 75% / 70% / 65% / 60% / 55% / 50%
	ゲーミングモード				オフ
					オン
	アスペクト比				4:3
					16:9
					完全 [ビデオ]
					21:9
					32:9
					LBX [SVGA、XGA モデルを除く]
					ネイティブ
					自動

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー ー 3	サブメニュー ー 4	値
ディスプレイ	ジオメトリ補正	自動キーストン			オフ
					オン
		垂直キーストン			-30 ~ 30
		水平キーストン			-30 ~ 30
		4 コーナー調整			
		ワーピング			オフ
					オン
		ワーピング調整			「上」「下」「左」「右」を押してポイントに焦点を合わせ、「OK」を押して、ポイントを選択します。 次に、「上」「下」「左」「右」を押して、選択したポイントの位置を移動します。[デフォルト:左上]。
		グリッド色			緑色
					マゼンタ
					赤色
					シアン
		リセット			
	エッジマスク				0 ~ 10
	デジタルズーム	ズーム			-5 ~ 20
設定	画像シフト	水平 			-100 ~ 100
		垂直 			-100 ~ 100
	リセット				
	テストパターン				緑色のグリッド
					マゼンタのグリッド
					白色グリッド
					白色
					オフ
	投影方向				フロント
					背面
					天吊り - トップ
					背面 - 上部
	言語				English
					Deutsch
					Français
					Italiano
					Español
					Português
					Polski
					Nederlands
					Svenska
					Norsk
					Dansk
					Suomi
					ελληνικά
					繁體中文
					簡体中文

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー ー 3	サブメニュー ー 4	値
設定	言語				日本語
					한국어
					Русский
					Magyar
					Čeština
					عربي
					ไทย
					Türkçe
					فارسی
					Tiếng Việt
					Bahasa Indonesia
					Română
	メニュー設定	メニュー位置			左上 
					右上 
					中央 
					左下 
					右下 
		メニュータイマー			オフ
					5 秒
					10 秒
					20 秒
					30 秒
		情報を表示しない			オフ
					オン
	高地モード				オフ
					オン
	電源設定	ダイレクトパワーオン			オフ
					オン
		信号電源オン			オフ
					オン
		自動電源オフ (分)			0、2 ~ 180 (1 分の増分)
		スリープタイマー (分)			0 ~ 990 (30 分の増分)
		電源モード (スタンバイ)			アクティブ
					エコ
					通信
		USB給電			オフ
					オン
		12V トリガー			オフ
					オン

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
設定	セキュリティ	セキュリティ			オフ
					オン
		セキュリティタイマー	月		
			日		
			時		
		パスワードの変更			
	本体キー設定	キーパッドロック			オフ
					オン
	起動ロゴ				デフォルト
					ニュートラル
	背景色				なし
					青色
					赤色
					緑色
					グレー
					ロゴ
	クローズドキャプション				CC1
					CC2
					オフ
	デバイスリセット	OSD をリセット			いいえ
					はい
		すべての設定をリセット			いいえ
					はい
入力	オートソース				オフ
					オン
	入力源の名前を変更	HDMI 1 / HDMI 2 / VGA 1 / VGA 2 / HDBaseT			デフォルト
					カスタム
	入力を表示しない	HDMI 1 / HDMI 2 / VGA 1 / VGA 2 / HDBaseT			いいえ
					はい
	EDID 設定	HDMI 1 EDID / HDMI 2 EDID / HDBaseT EDID			1.4
					2.0
	HDMI 出力				HDMI 1
					HDMI 2
	HDMI CEC 設定	HDMIリンク			オフ
					オン
		モニター連動			いいえ
					はい
	HDMI CEC 設定	電源オンリンク			双方向設定
					PJ --> デバイス
					デバイス --> PJ
		電源オフリンク			オフ
					オン
	リセット				いいえ
					はい

プロジェクターを使用する

メイン メニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー ー 3	サブメニュー ー 4	値
オーディオ	音量				0 ~ 100
	ミュート				オフ
					オン
	オーディオ出力				自動
					内蔵スピーカー
					ライン出力
	デジタル出力フォーマット				Bitstream
					PCM
	オーディオ入力	HDMI 1 / HDMI 2 / HDBaseT			オーディオ 1
					オーディオ 2
					デフォルト
		VGA 1 / VGA 2			オーディオ 1
コントロール					オーディオ 2
	リセット				
	デバイス ID				0 ~ 99
	リモコン設定	リモコン受光設定			オン
					フロント
					上端
					オフ
		リモートコード			0 ~ 99
		F1/ F2/ F3			HDMI 1/ HDMI 2/ テストパターン/ 輝度/ コントラスト/ スリープタイマー/ カラーマッチング/ 色温度/ ガンマ/ 設置モード/ 光源モード/ ズーム/ フリーズ [モデルによって異なります]
	LAN	ネットワーク情報			(読み取り専用。接続 / 切断)
		MACアドレス			(読み取り専用)
		DHCP			オフ/オン
		IP アドレス			192.168.0.100
		サブネットマスク			255.255.255.0
		ゲートウェイ			192.168.0.254
		DNS 1			192.168.0.51
		DNS 2			0.0.0.0
		リセット			

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値
コントロール	コントロール	クレストロン			オフ
					オン
		エクストロン			オフ
					オン
		PJ リンク			オフ
					オン
		AMX デバイス検出			オフ
					オン
	HDBaseT コントロール	イーサネット			オフ
					オン
		RS232			オフ
					オン
		リセット			
情報	規制				
	シリアル番号				
	ソース情報				ソース
					(00x00)
					リフレッシュレート(0.00Hz)
	ピクチャモード				
	色情報				色ビット深度
					色域
					色空間
	電源モード (スタンバイ)				アクティブ/エコ
	光源使用時間				
	光源モード				
	リモートコード				00 ~ 99
	リモートコード(アクティブ)				00 ~ 99
	デバイス ID				00 ~ 99
	IP アドレス				
	ネットワーク情報				
	FW バージョン	DDP			
		MCU			
		LAN			
		HDBaseT			

プロジェクターを使用する

イメージメニュー

画像設定を構成する方法について説明します。

サブメニュー

- ピクチャモード
- ダイナミックレンジ
- 輝度
- コントラスト
- シャープネス
- ガンマ
- ダイナミックブラック
- 色設定
- 壁色
- 信号
- 3D

ピクチャモード

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレイモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

- **鮮明:** このモードを選択すると、色の彩度と明るさのバランスが取れ、表示が明るくなります。環境光があるセットアップ、またはより明るい画像/プレゼンテーションが必要な場合は、このモードを選択してください。
- **HDR /HLG:** ハイダイナミックレンジ (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR/HLG が自動的に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR/HLG コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HD/HLGR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR/HLG モードが有効なとき、他のディスプレイモード (映画や参照など) は選択できません。HDR/HLG は、他のディスプレイモードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **シネマ:** 映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
- **ゲーム:** ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクタを最適化します。
- **リファレンス:** このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。
- **高輝度:** このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **DICOM SIM.:** このモードは、医療訓練中のX線画像および走査画像の閲覧など、グレースケール画像の確認用に開発されました。
注: * このプロジェクターは、医療診断での使用には適していません。
- **3D:** 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。
注: 3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。

プロジェクターを使用する

ダイナミックレンジ

HDR/HLG

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) 設定およびその効果を構成します。

- **自動:** HDR/HLG 信号を自動検出します。
- **オフ:** HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG コンテンツを復号しません。

HDR 輝度

HDR コンテンツの明るさを調整します。この設定の影響はコンテンツによって異なります。設定を最大近くまたは最大に調整すると、画像の詳細が失われる可能性があります (コンテンツによって異なります)。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム:** ホームシアター用。
- **グラフィック:** PC/写真ソース用。
- **1.8/2.0/2.2/2.4:** 特定の PC/写真ソース用。

ダイナミックブラック

最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。

色設定

色

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。

色温度

暖色、標準、高、または寒色から色温度を選択します。

プロジェクターを使用する

CMS

次のオプションを選択します：

- **色：** 画像の赤、緑、青、シアン、黄、マゼンタ、白レベルを調整します。
- **色あい：** 赤と緑のカラーバランスを調整します。
- **彩度：** ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
- **輝度：** 選択したカラーの輝度を調整します。
- **リセット：** Colour Adjustment を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

色空間

適切なカラーマトリックスタイプを選択します：

- **色空間** (非 HDMI 入力のみ)：以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します：自動、RGB、または YUV。
- **色空間** (HDMI 入力のみ)：以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します：自動、RGB (0-255)、RGB (16-235)、または YUV。

壁色

スクリーンのない壁に投影するとき、投影される画像の色を調整するように設計されています。各モードは、優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

壁の色に合わせて選択できる、事前定義されたモードがいくつかあります。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

注： 正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。

信号

信号オプションを調整します。

- **自動：** 信号を自動的に設定します (周波数と位相項目はグレー表示になります)。自動が無効になっている場合、設定を手動で調整し保存できるように周波数と位相項目が表示されます。
- **周波数：** ディスプレイデータ周波数を変更して、コンピューターのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。
- **位相：** ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- **水平位置：** 画像の水平位置を調整します。
- **垂直位置：** 画像の垂直位置を調整します。

注： このメニューは、入力ソースが、RGB/コンポーネントである場合のみ利用可能です。

3D

注：

- このプロジェクターは、DLP リンク 3D ソリューションを備えた 3D 対応プロジェクターです。
- ビデオを楽しむ前に、DLP リンク 3D コンテンツに 3D メガネが使用されていることを確認してください。
- このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2 ポートを介して、フレームシーケンシャル (ページフリップ) 3D をサポートしています。
- 3D モードを有効にするには、入力フレームレートを 60Hz のみに設定してください。これより低いまたは高いフレームレートはサポートされていません。
- 最良の映像を実現するために、1920x1080 の解像度が推奨されます。3D モードでは、4K (3840x2160) の解像度に対応していません。

プロジェクターを使用する

3D モード

このオプションを利用し、3D 機能を有効または無効にします。

- **オフ:** [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- **オン:** [オン] を選択すると、3D モードがオンになります。

3D 同期タイプ

このオプションを使用して、3D 技術を選択します。

- **DLP リンク:** 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- **3D 同期:** IR、RF または偏光 3D 眼鏡用に最適化された設定を使用するために選択します。

3D 映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動:** 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイドバイサイド:** 「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップアンドボトム:** 3D 信号を [トップアンドボトム] フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル:** 3D 信号を [フレームシーケンシャル] フォーマットで表示します。
- **フレームパッキング:** 3D 信号を [フレームパッキング] フォーマットで表示します。

3D同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

リセット

3D 設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

- **いいえ:** リセットをキャンセルするために選択します。
- **はい:** 3D 設定を工場出荷時設定に戻すために選択します。

リセット

映像設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

プロジェクターを使用する

ディスプレイメニュー

設置状況に応じて映像を適切に投影するための設定方法を説明します。

サブメニュー

- 光源モード
- ゲーミングモード
- アスペクト比
- ジオメトリ補正
- エッジマスク
- デジタルズーム
- 画像シフト

光源モード

設置要件に応じて、光源モードを選択してください。

ゲーミングモード

ゲーム中にこの機能を有効にして、応答時間 (入力待機時間) を 8.6 ミリ秒 (1080p120Hz) に低減します。
すべてのジオメトリ設定 (例: キーストン、四隅) は、ゲーミングモードが有効であるとき、無効になります。詳細については、以下をご覧ください。

注:

- 信号による入力ラグは、次の表に記載する通りです。
- 表の値は若干変動する場合があります。

ソースタイミング	ゲーミングモード	出力タイミング	出力解像度	入力遅延
1080p60Hz	オン	1080p240Hz	1080p	17 ミリ秒
1080p120Hz	オン	1080p240Hz	1080p	8.6 ミリ秒
1080p240Hz	オン	1080p240Hz	1080p	4.36 ミリ秒
4K60Hz	オン	4K60	4K	16.9 ミリ秒

1080p60Hz	オフ	4K60	1080p	33.8 ミリ秒
1080p120Hz	オフ	4K60	1080p	17 ミリ秒
1080p240Hz	オフ	4K60	1080p	8.6 ミリ秒
4K60Hz	オフ	4K60	4K	33.7 ミリ秒

アスペクト比

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3:** このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9:** ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- **完全 [ビデオ]:** この特殊 2.0:1 アスペクト比を使って、画面の上部および下部の黒いバーなく、16:9 および 2.35:1 アスペクト比の映画を表示します。
- **21:9:** ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 21:9 入力用です。
- **32:9:** ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 32:9 入力用です。
- **LBX:** 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- **ネイティブ:** このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動:** 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

プロジェクターを使用する

注:

- 垂直ストレッチ モードに関する詳細情報:
 - 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレイの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、垂直ストレッチモードを使って 16:9 ディスプレイに画像を合わせることができます
 - 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この垂直ストレッチモードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレイに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます
- 全画面表示フォーマットを使用するには、以下を行います:
 - a) 画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。
 - b) [全画面] 形式を選択します。
 - c) プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。

4K UHD スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
LBX	中央の 3840 x 1620 画像を取得し、その後、3840 x 2160 にサイズ変更して表示します。				
ネイティブ	1:1 中央にマッピング。 サイズ変更は行われません。表示される解像度は、入力ソースに依存します。				
自動	- ソースが 4:3 である場合、画面タイプは自動的に 2880 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:9 である場合、画面タイプは自動的に 3840 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 15:9 である場合、画面タイプは自動的に 3600 x 2160 にサイズ変更されます。 - ソースが 16:10 である場合、画面タイプは自動的に 3456 x 2160 にサイズ変更されます。				

自動マッピングルール:

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイドノート PC	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

プロジェクターを使用する

ジオメトリ補正

自動キーストン

投射している領域に投射画像を合わせるためにキーストンをデジタルで補正します。

注:

- 垂直キーストンを調整すると、画像サイズがわずかに小さくなります。
- 自動キーストンを使用すると、4 コーナー調整機能が無効になります。

垂直キーストン

画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストンは、上下が片側に傾いているキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

水平キーストン

画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

4 コーナー調整

この設定により、投影面が水平でない場合に、投影画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。

ワーピング

ワーピング調整を有効または無効にします。

ワーピング調整

▲/▼/◀/▶ キーを押してポイントに焦点を合わせ、**Enter** キーを押してポイントを選択します。次に ▲/▼/◀/▶ を押して、選択したポイントの位置を移動します。

グリッド色

ワープパターンのグリッドの色を 緑色、マゼンタ、赤色、シアン の間で選択します。

リセット

幾何学補正設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

エッジマスク

この機能を使って、ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを除去します。

デジタルズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。デジタルズームは、光学ズームと同じではなく、画質が劣化する場合があります。

注: ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。

画像シフト

投影される画像位置を水平 (水平) または垂直 (垂直) に調整します。

リセット

ディスプレイ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

設定メニュー

プロジェクターのセットアップ方法について説明します。

サブメニュー

- テストパターン
- 投影方向
- 言語
- メニュー設定
- 高地モード
- 電源設定
- セキュリティ
- 本体キー設定
- 起動ロゴ
- 背景色
- クローズドキャプション
- デバイスリセット

テストパターン

テストパターンを 緑色のグリッド、マゼンタのグリッド、白色グリッド、白色 から選択するか、この機能 (オフ) を無効にします。

投影方向

フロント、背面、天吊り - トップ、背面 - 上部 から希望の投影を選択します。

言語

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、フィンランド語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語、ハンガリー語、チェコスロバキア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ペルシア語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語から選択します。

メニュー設定

メニュー位置

画面上に表示されるメニューの位置を選択します。

メニュータイマー

OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

情報を表示しない

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

高地モード

[オン] を選択すると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

電源設定

ダイレクトパワーオン

[オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

信号電源オン

[オン] を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

プロジェクターを使用する

注:

- [信号電源オン] オプションが [オン] に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。
- この機能は HDMI ソースに適用されます。

自動電源オフ (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

スリープタイマー (分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

注: スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。

電源モード (スタンバイ)

電源モードを設定します。

- **アクティブ:** [アクティブ] を選択すると通常スタンバイに戻ります。
- **エコ:** [エコ] を選択すると、節電モードになります (<0.5W)。
- **通信:** ネットワーク経由でプロジェクターを制御できるようになるため、消費電力が増加します。

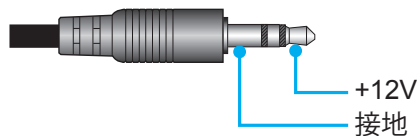
USB給電

USB 電源機能を有効または無効にします。

12V トリガー

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。

注: リレーシステム制御用に 12V 500mA (最大) を出力する 3.5 mm ミニジャック。



- **オン:** [オン] を選択するとトリガが有効になります。
- **オフ:** [オフ] を選択するとトリガが無効になります。

セキュリティ

セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- **オン:** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティ検証を行います。
- **オフ:** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。

注: デフォルトのパスワードは「1234」です。

セキュリティタイマー

時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクターから再度パスワードを入力するよう要求されます。

パスワードの変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

プロジェクターを使用する

本体キー設定

キーパッドロック

キーパッドロック機能が [オン] であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

起動ロゴ

この機能を使って希望の起動画面を設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト:** デフォルトの起動画面です。
- **ニュートラル:** ロゴは起動画面に表示されません。

背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、なし、またはロゴ画面を表示します。

注: 背景色が [なし] に設定されている場合、背景色は黒になります。

クローズドキャプション

[クローズドキャプション] はプログラムの音声あるいはその他の情報をテキストとして画面上に表示します。入力信号がクローズドキャプションを含んでいる場合、この機能をオンにしてチャンネルを閲覧することができます。利用可能オプションは、[オフ]、[CC1]、および [CC2] です。

デバイスリセット

OSD をリセット

OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

すべての設定をリセット

すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

入力メニュー

プロジェクターの入力設定を行う方法について説明します。

サブメニュー

- オートソース
- 入力源の名前を変更
- 入力を表示しない
- EDID 設定
- HDMI 出力
- HDMI CEC 設定

オートソース

利用可能な入力源をプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

入力源の名前を変更

簡単に特定できるように入力機能の名前を変更するために使用します。利用可能なオプションには、HDMI1、HDMI2、VGA 1、VGA 2、HDBaseT が含まれます。

入力を表示しない

入力ソースメニューから非表示にする入力オプションを選択します。利用可能なオプションには、HDMI1、HDMI2、VGA 1、VGA 2、HDBaseT が含まれます。

プロジェクターを使用する

EDID 設定

EDID の互換性を設定します。

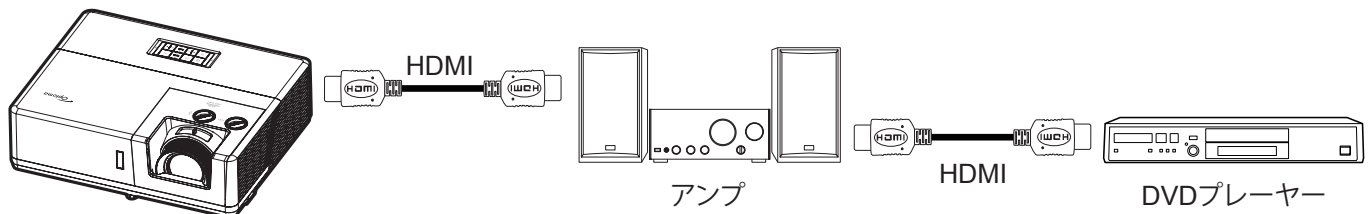
- **HDMI 1 EDID /HDMI 2 EDID:** HDMI 信号を受信する場合、信号が正しく表示されるようにプロジェクターの EDID 互換性を設定してください。HDMI 1.4 の入力デバイスの場合は 1.4 を選択し、HDMI 2.0 デバイスの場合は 2.0 を選択します。
- **HDBaseT EDID:** HDBaseT 経由で HDMI 信号を受信する場合、信号が正しく表示されるようにプロジェクターの EDID 互換性を設定してください。HDMI 1.4 の入力デバイスの場合は 1.4 を選択し、HDMI 2.0 デバイスの場合は 2.0 を選択します。

HDMI 出力

信号を出力する HDMI ポートを選択します。

HDMI CEC 設定

注: HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクターの OSD で HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。



HDMIリンク

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。

モニター連動

設定が [はい] に設定されている場合は、電源オンおよび電源オフのリンクオプションを使用できます。

電源オンリンク

CEC 電源オンコマンド。

- **双方向設定:** プロジェクターとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- **PJ --> デバイス:** プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- **デバイス --> PJ:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。

電源オフリンク

この機能を有効にして、HDMI リンクとプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

リセット

入力設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

オーディオメニュー

オーディオ設定を構成する方法について説明します。

サブメニュー

- 音量
- ミュート
- オーディオ出力
- デジタル出力フォーマット
- オーディオ入力

音量

音量レベルを調整します。

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オフ:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- **オン:** [オン] を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

注: [ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えません。

オーディオ出力

音声出力を 自動、内蔵スピーカー、ライン出力 の間で選択します。

デジタル出力フォーマット

デジタル出力フォーマットを Bitstream と PCM の間で選択します。

オーディオ入力

適切な音声入力ソースを選択します。

- **HDMI 1 / HDMI 2 / HDBaseT:** 利用可能なオプションには、オーディオ 1、オーディオ 2、デフォルト が含まれます。
- **VGA 1 / VGA 2:** 利用可能なオプションには、オーディオ 1 と オーディオ 2 が含まれます。

リセット

オーディオ設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

コントロールメニュー

コントロールメニューは、プロジェクターが他のプロジェクターまたは制御デバイスと通信できるようにする設定を構成するために使用されます。

サブメニュー

- デバイス ID
- リモコン設定
- LAN
- コントロール
- HDBaseT コントロール

補足情報

- Webコントロールパネルの使用
- TelnetによるRS232コマンドの使用

デバイス ID

ID 定義をメニュー (0～99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

注: RS232 コマンドの完全な一覧については、当社の Web サイトの RS232 ユーザーマニュアルを参照してください。

リモコン設定

リモコン受光設定

リモコン受光設定を行います。

- **オン:** [オン] を選択すると、上部および前面 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- **フロント:** [オン] を選択すると、前面 IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できます。
- **上端:** [オン] を選択すると、上部の IR レシーバーからリモコンでプロジェクターを操作できるようになります。
- **オフ:** [オフ] を選択すると、リモコンでプロジェクターを操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

リモートコード

リモート ID ボタンを 3 秒間押して、リモートカスタムコードを設定すると、リモートインジケータ (オフボタンの上) が点滅し始めます。次に、キーボードの数字キーを使用して 00 ～ 99 の数字を入力します。数字を挿入すると、リモートインジケータが 2 回すばやく点滅し、リモートコードが変更されたことを示します。

F1 / F2 / F3

リモコンの「F1」「F2」「F3」ボタンに機能を割り当てます。OSD メニューを経由することなく、簡単に機能を使用できます。利用可能な機能は HDMI 1、HDMI 2、テストパターン、輝度、コントラスト、スリープタイマー、カラーマッチング、色温度、ガンマ、設置モード、光源モード、ズーム、フリーズ です。

LAN

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

ネットワーク情報

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)

MACアドレス

MAC アドレスを表示します。(読み取り専用)

DHCP

DHCP をオンにすると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS 1、DNS 2 が自動的に取得されます。

プロジェクターを使用する

IP アドレス

プロジェクターの IP アドレスを割り当てます。

サブネットマスク

プロジェクターのサブネットマスクを割り当てます。

ゲートウェイ

プロジェクターのゲートウェイを割り当てます。

DNS 1 / DNS 2

プロジェクターの DNS を割り当てます。

リセット

ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。

コントロール

このプロジェクターは、有線ネットワーク接続を介してコンピューターまたはその他の外部デバイスからリモートで制御できます。ユーザーは、リモートコントロールセンターから 1 つまたは複数のプロジェクターを制御できます。たとえば、プロジェクターの電源のオン/オフ、画像の明るさやコントラストの調整などです。

コントロールサブメニューを使用して、プロジェクターのコントロールデバイスを選択します。

クレストロン

Crestron コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.crestron.com> にアクセスしてください。

エクストロン

Extron デバイスでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.extron.com> にアクセスしてください。

PJ リンク

PJLink v2.0 コマンドでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://pjlink.jbmia.or.jp/english> にアクセスしてください。

AMX デバイス検出

AMX デバイスでプロジェクターを制御します。

詳細については、<http://www.amx.com> にアクセスしてください。

Telnet

Telnet 接続を介して RS232 コマンドを使用してプロジェクターを制御します。

詳細については、「[RS232 by Telnet] 機能」(54 ページ) を参照してください。

HTTP

Web ブラウザーでプロジェクターを制御します。(ポート: 80)

詳細については、「Web ブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法」(47 ページ) を参照してください。

注:

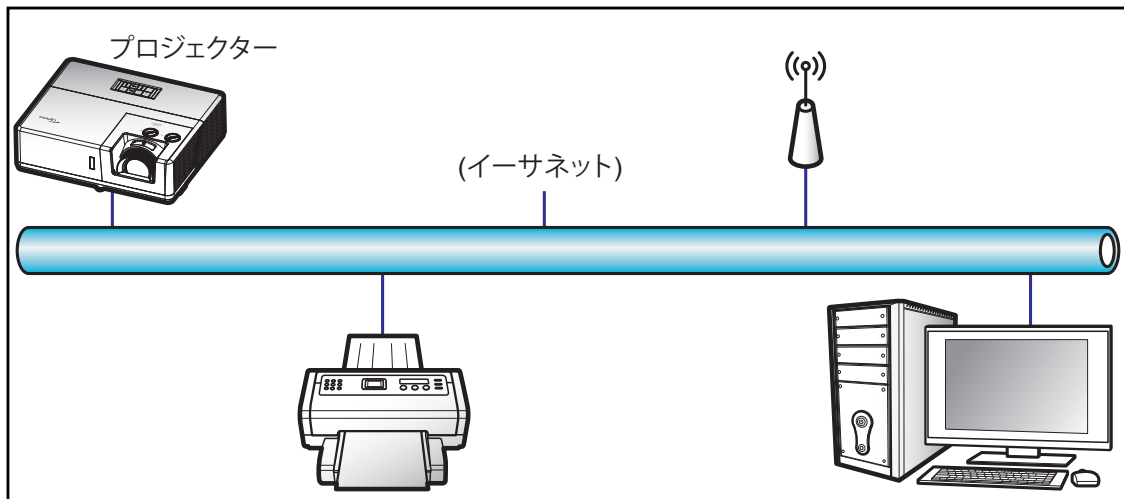
- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。
- LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する情報については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

プロジェクターを使用する

ネットワーク制御のセットアップ

LAN RJ45 機能

操作を簡単にするために、プロジェクターは多様なネットワーク機能とリモート管理機能を備えています。プロジェクターの LAN/RJ45 機能では、ネットワークを介して電源のオン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定などをリモート管理できます。また、ビデオソースや消音など、プロジェクターステータス情報も表示できます。



有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、LAN/RJ45 ポートと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJLink を介して制御できます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMIA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

<http://www.crestron.com/>

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

<http://www.extron.com/>

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

<http://www.amx.com/>

このプロジェクターは、PJLink Class 2 のすべてのコマンドをサポートしています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/english/>

LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

プロジェクターを使用する

Web ブラウザを使用してプロジェクタをコントロールする方法

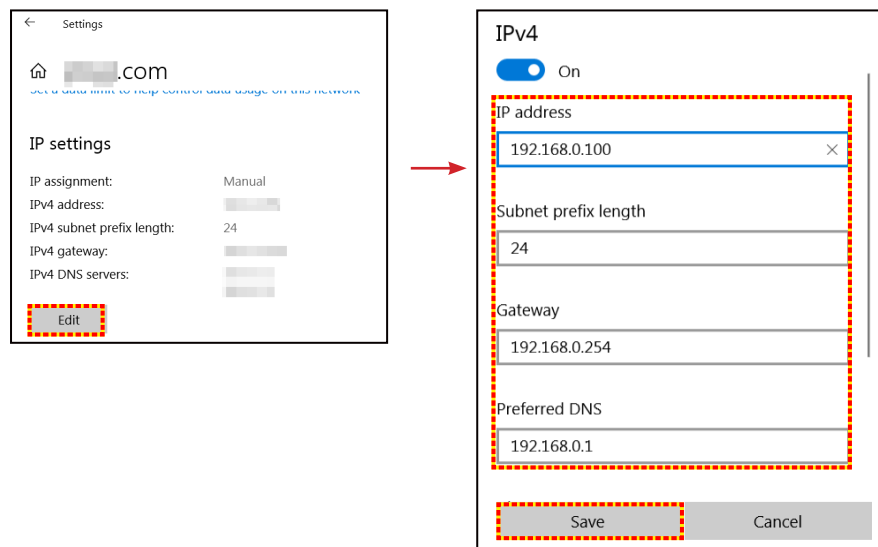
1. DHCP サーバーが IP アドレスを自動的に割り当てられるよう、プロジェクタの DHCP オプションを [オン] にします。
2. PC で Web ブラウザーを開き、プロジェクターの IP アドレスを入力します ([コントロール > LAN > IP アドレス])。
3. ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
プロジェクターの構成 Web インターフェイスが開きます。

注:

- 既定のユーザー名は「admin」です。
- このセクションの手順は Windows 10 オペレーティングシステムに基づいています。

コンピュータからプロジェクタに直接接続しているとき*

1. プロジェクターの DHCP オプションを [オフ] にします。
2. プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を構成します ([コントロール > LAN])
3. PC の [ネットワークとインターネット] ページを開き、プロジェクターに設定されている値と同一のネットワークパラメーターを PC に割り当てます。[OK] をクリックしてパラメーターを保存します。

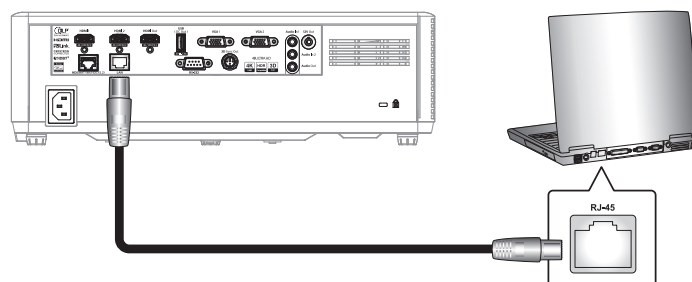


4. PC で Web ブラウザを開き、手順 3 で割り当てた IP アドレスを URL フィールドに入力します。[Enter] キーを押します。

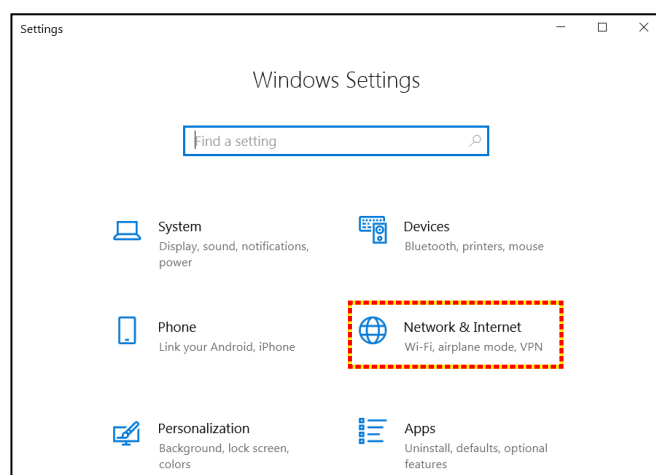
プロジェクターを使用する

LAN RJ45

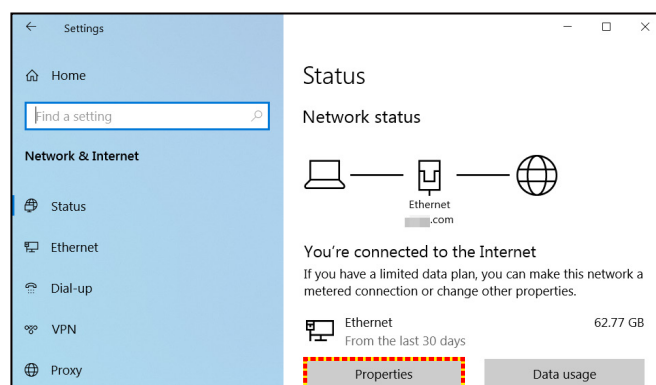
1. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに RJ45 ケーブルを接続します。



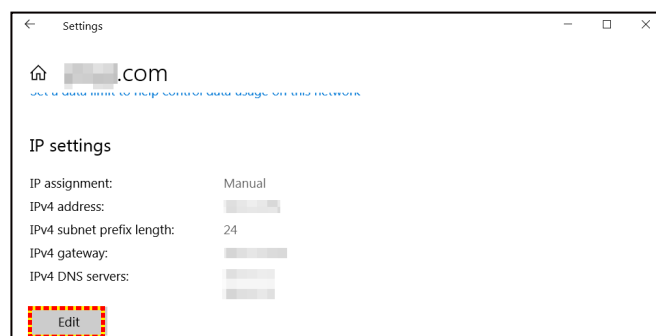
2. PC (ラップトップ) で、[スタート] 画面 > [設定] > [ネットワークとインターネット] を選択します。



3. [イーサネット] セクションで、[プロパティ] を選択します。

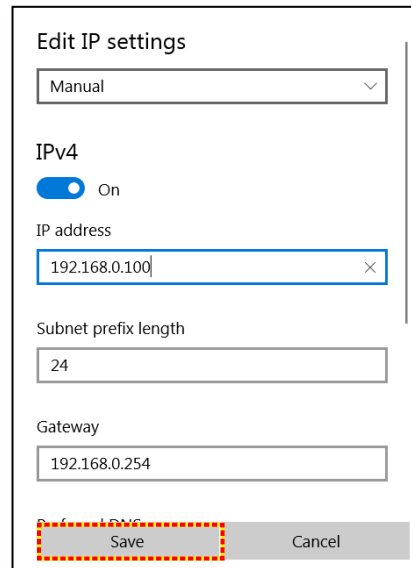


4. [IP 設定] セクションで、[編集] を選択します。



プロジェクターを使用する

5. IP アドレスとゲートウェイを入力し、[保存] を選択します。



Edit IP settings

Manual

IPv4

On

IP address

192.168.0.100

Subnet prefix length

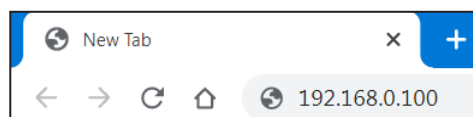
24

Gateway

192.168.0.254

Save Cancel

6. プロジェクターの [メニュー] ボタンを押します。
7. プロジェクターで **コントロール > LAN** の順に開きます。
8. 次の接続パラメーターを入力します。
 - DHCP: オフ
 - IP アドレス: 192.168.0.100
 - サブネットマスク: 255.255.255.0
 - ゲートウェイ: 192.168.0.254
 - DNS: 192.168.0.51
9. [Enter] を押し、設定を確定します。
10. Adobe Flash Player 9.0 以降がインストールされた Microsoft Edge または Chrome などの Web ブラウザーを開きます。
11. アドレスバーに、プロジェクターの IP アドレスを入力します。192.168.0.100。



12. [Enter] を押します。

プロジェクターを使用する

このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。

ログイン

初めて Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。
有効なユーザーパスワードを入力してください。

The screenshot shows the 'Admin' interface of the 'Projector Web Server' for an 'Optoma UHD' projector. The page has a dark sidebar with the 'Admin' label. The main content area is divided into two sections: 'Change Username and Password for Webpage' and 'Change PJLink Password'. Each section contains input fields for 'Enter User Name', 'Enter New password', and 'Confirm New password'. The 'Change Username and Password for Webpage' section shows 'admin' in the 'Enter User Name' field. To the right of the input fields, there are two columns of instructions: one for the webpage password (recommending at least eight single-byte characters with a mix of uppercase, lowercase, and digits) and one for the PJLink password (recommending at least eight single-byte characters with a mix of uppercase, lowercase, and digits). An 'Apply' button is located at the bottom right of the 'Change PJLink Password' section.

有効なパスワードを入力して Web ページを開くと、以下のような画面が表示されます。[パスワード] フィールドにパスワードを入力します。

The screenshot shows the 'Admin' interface of the 'Projector Web Server' for an 'Optoma UHD' projector. The page has a dark sidebar with the 'Admin' label. The main content area is mostly empty, with a login form centered on the page. The login form consists of two input fields: 'Username' (with 'admin' entered) and 'Password' (empty). Below the 'Password' field is a 'Login' button.

プロジェクターを使用する

システムステータス

プロジェクターの現在のステータスが表示されます。プロジェクターのモデル名、ファームウェアのバージョン、現在の LAN 構成を確認し、必要に応じてインターフェイス言語を変更できます。

図中の Web ページに表示されるバージョン名は、実際の表示と異なる場合があります。

Optoma Projector Web Server
Projector Name: Optoma UHD

Admin > System Status

System Status	Model Name	Optoma UHD
General Setup	Projector Name	Optoma UHD
Projector Control	FW Version	C05
Network Setup	System	C05
Alert Setup	LAN	L11
Crestron	LAN Status	
Reset to Default	IP Address	192.168.0.100
Reboot System	Subnet Mask	255.255.255.0
	Default Gateway	192.168.0.254
	MAC Address	00:50:41:C0:00:42

English Apply

一般設定

ここで設定したプロジェクター名は PJLink 制御でも使用されます。プロジェクター名として使用できるのは英数字のみです。最大文字数は 32 文字です。

パスワードには英数字のみを使用できます。最小文字数は 8 文字です。無効な文字を入力すると、「無効な文字です」という警告が表示されます。

新しいパスワードの文字と確認 (新しい) パスワードの文字が一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。この場合は、パスワードを再入力してください。

Optoma Projector Web Server
Projector Name: Optoma UHD

Admin > General Setup

Projector Name: Optoma UHD Apply

Change Username and password for Webpage

Enter Username: admin

Enter Old password:

Enter New password:

Confirm New password:

Apply

PJLink Setting

PJLink Password: ☐ Enable ☒ Disable

Current Password:

New Password:

Confirm Password:

Apply

プロジェクターを使用する

プロジェクター制御

この項目でプロジェクターを制御できます。ここでは、制御する項目について説明します。

コントロールボタン: ボタンをクリックすると、対応する機能が実行されます。

Optoma Projector Web Server
Projector Name: Optoma UHD Logout

Admin > Projector Control

System Status

General Setup

Projector Control

Network Setup

Alert Setup

Crestron

Reset to Default

Reboot System

Power On Power Off

Resync Reset

AV Mute Off

Freeze Off

Information hide Off

High Altitude Off

Keypad Lock Off

Direct Power On Off

12V Trigger Off

Signal Power on Off

3D Sync Invert Off

3D Mode Off

3D Format Auto

Mute Off

Dynamic Black On

Volume(Audio) 20

Audio Input Default

Input HDMI1

Brightness 0

Contrast 0

Sharpness 12

Phase 0

Brilliant Color 10

Gamma 2.4

Color Temperature Cool

Picture Mode Vivid

Color Space Auto

Aspect Ratio Auto

Projection Front

Zoom Value 0

H Keystone 0

V Keystone 0

H Image Shift 0

V Image Shift 0

Four Corners

Offset: Select

ネットワーク設定

プロジェクターのネットワークを設定します。

Optoma Projector Web Server
Projector Name: Optoma UHD Logout

Admin > Network Setup

System Status

General Setup

Projector Control

Network Setup

Alert Setup

Crestron

Reset to Default

Reboot System

IP Setup

DHCP On Off

IP Address 192 168 0 100

Subnet Mask 255 255 255 0

Default Gateway 192 168 0 254

DNS Server 1 168 95 1 1

DNS Server 2 0 0 0 0

Apply

LAN Control

Crestron On Off

Crestron XiO On Off

Extron On Off

PJLink On Off

AMX On Off

Telnet On Off

Apply

プロジェクターを使用する

アラート設定

エラーが発生したときにメールアラートを送信できます。このセクションでは、アラートメールの設定を行うことができます。

1. アラートの種類: アラートメールを送信するエラーの種類にチェックを入れます。
2. アラートメール通知: 次の設定を確認して実行します。
 - SMTP 設定: 以下を設定します。
 - a) SMTP サーバー: サーバーアドレス (サーバー名) (SMTP サーバー)
 - b) From: 送信者のメールアドレス
 - c) ユーザー名: メールサーバーのユーザー名
 - d) パスワード: メールサーバーのパスワード。
 - メール設定: 以下を設定します。
 - a) メールの件名
 - b) メールの内容
 - c) 宛先: 送信者のメールアドレスを入力します。
3. [適用] をクリックして値を修正します。
4. *xxx.xxx.xxx.xxx にプロジェクターの IP アドレスを入力します。
5. テストメールを送信します。

[テストメール送信] をクリックすると、テストメールが送信されます。テキストは「Email Test xxx.xxx.xxx.xxx *」になります。

The screenshot shows the 'Admin > Alert Setup' page of the Optoma Projector Web Server. The page has a dark sidebar with navigation links: System Status, General Setup, Projector Control, Network Setup, Alert Setup (selected), Crestron, Reset to Default, and Reboot System. The main content area is titled 'Projector Web Server' and 'Projector Name: Optoma UHD'. It contains the following settings:

- Alert Type:** ☐ Fan Error, ☐ High Temp Warning, ☐ Light Source Error
- Alert Mail Notification:** ☒
- SMTP Setting:**
 - SMTP Server:
 - From:
 - Username:
 - Password:
- Email Setting:**
 - Mail Subject:
 - Mail Content:
 - To:

At the bottom right of the form, there are two buttons: 'Apply' and 'Send Test Mail'.

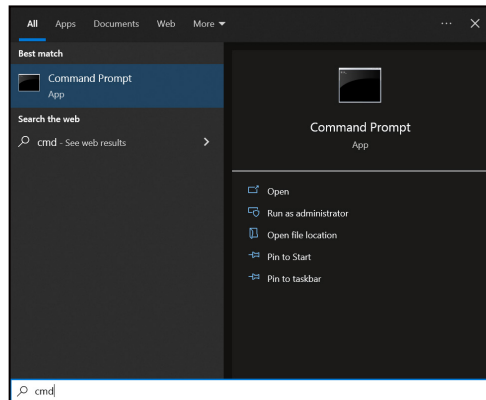
プロジェクターを使用する

[RS232 by Telnet] 機能

制御の代替方法として、このプロジェクターには、LAN/RJ45 インターフェイス用の TELNET による RS232 コマンド制御があります。

[RS232 by Telnet] のクイックスタートガイド

- プロジェクターの OSD で IP アドレスを確認します。
 - PC/ラップトップがプロジェクターの Web ページにアクセスできることを確認します。
 - PC/ラップトップが [TELNET] 機能を拒否する場合、[Windows ファイアウォール] 設定が無効になっていることを確認します。
1. **[検索]**  をクリックし、検索語として「cmd」と入力します。「Enter」キーを押します。



2. コマンドプロンプトアプリを開きます。
3. コマンドを次の形式で入力します。
 - telnet ttt.xxx.yyy.zzz 23 ([Enter] キーを押す)
 - (ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレス)
4. Telnet 接続の準備ができており、ユーザーが RS232 コマンドを入力できる場合は、「Enter」キーを押すと、Telnet 接続で RS232 コマンド制御の準備が整います。

[RS232 by TELNET] の仕様:

1. Telnet: TCP。
2. Telnet ポート: 23 (詳細については、Optoma サービスチームにお問い合わせください)。
3. Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
4. Telnet セッションを終了するには、コマンドプロンプトアプリウィンドウを閉じます。
5. TELNET 接続準備完了直後の Windows Telnet ユーティリティ。
 - Telnet 制御の制限 1: Telnet-Control アプリケーションの連続するネットワークペイロードは 50 バイトを超えることはできません。
 - Telnet 制御の制限 2: Telnet-Control の連続する RS232 コマンドは、26 バイトを超えることはできません。
 - Telnet 制御の制限 3: 次のコマンドの最小遅延は 200 (ミリ秒) を超えている必要があります。

プロジェクターを使用する

HDBaseT コントロール

イーサネット / RS232

プロジェクターは、付属の HDBaseT 送信機からのイーサネットまたは RS232 信号を自動的に検出できます。自動検出を行う場合は、必ず、各信号を有効にしてください。

リセット

コントロール設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

情報メニュー

プロジェクターのステータスと設定に関する情報を表示します。プロジェクター情報は読み取り専用です。

- 規制
- シリアル番号
- ソース情報
- ピクチャモード
- 色情報
- 電源モード (スタンバイ)
- 光源使用時間
- 光源モード
- リモートコード
- リモートコード (アクティブ)
- デバイス ID
- IP アドレス
- ネットワーク情報
- FW バージョン

追加情報

対応解像度

コンピューターの互換性

PC のタイミングテーブル:

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
VGA	640x480	60/67/72/75	Mac 60/75
	720x400	70	
SVGA	800x600	56/60/72/75	Mac 60/75
	832x624	75	Mac 75
XGA	1024x768	60/70/75/120	Mac 60/70/75
HDTV(720p)	1280x720	60/120	Mac 60
WXGA	1280x800	60	Mac 60
WXGA	1366x768	60	
SXGA	1280x1024	60/75	Mac 60/75
	1440x900	60	
SXGA+	1400x1050	60	
UXGA	1600x1200	60	
WUXGA	1920x1200(*1)	60	Mac 60

注:

- (*1) 1920x1200 @60Hz は RB (縮小ブランキング) のみをサポートします。

HDMI/HDBaseT の入力信号:

信号	解像度	リフレッシュ レート (Hz)	Mac に関する注記
VGA	640x480	60/67/72/75	Mac 60/75
	720x400	70	
SVGA	800x600	56/60/72/75	Mac 60/75
	832x624	75	Mac 75
XGA	1024x768	60/70/75/120	Mac 60/70/75
SDTV(480p)	720x480	60	
SDTV(576p)	720x576	50	
HDTV(720p)	1280x720	60/120	Mac 60
WXGA	1280x800	60	Mac 60
	1440x900	60	
WXGA	1366x768	60	
SXGA	1280x1024	60/75	Mac 60/75
	1440x900	60	
SXGA+	1400x1050	60	
UXGA	1600x1200	60	
HDTV(1080i)	1920x1080	60	
HDTV(1080p)	1920x1080	24/50/60/120	Mac 60
WQHD	2560x1440	120	Mac 60
UHD(2160p)	3840x2160	24/30/50/60	
	4096x2160	24/50/60	

追加情報

3D サポートされるタイミング

Blu-ray 3D の HDMI1.4a 3D タイミング:

信号	タイミング
720p (フレームパッキング)	1280x720@50Hz
720p (フレームパッキング)	1280x720@60Hz
1080p (フレームパッキング)	1920x1080@23.98/24Hz
720p (トップアンドボトム)	1280x720@50Hz
720p (トップアンドボトム)	1280x720@60Hz
1080p (トップアンドボトム)	1920x1080@23.98/24Hz
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920x1080@50(25)Hz
1080i (サイドバイサイド (ハーフ))	1920x1080@60(30)Hz

PC 3D タイミング:

信号	タイミング
フレームシーケンシャル	1920x1080@120Hz

追加情報

EDID (アナログ)

VGA									
B0/確立タイミング			B0/標準タイミング			B0/詳細タイミング		B1/詳細タイミング	
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	比率	解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]
720x400	70.0	31.5	1024x768	120.0	04:03	1920x1080	60.0	1366x768	60.0
640x480	60.0	31.5	1280x720	60.0	16:09			1920x1200(RB)	60.0
640x480	66.6(67)	34.9	1280x720	120.0	16:09				
640x480	72.0	37.9	1280x800	60.0	16:10				
640x480	75.0	37.5	1280x1024	60.0	05:04				
800x600	56.0	35.1	1440x900	60.0	16:10				
800x600	60.0	37.9	1400x1050	60.0	04:03				
800x600	72.0	48.1	1600x1200	60.0	04:03				
800x600	75.0	46.9							
832x624	75.0	48.9							
1024x768	60.0	48.4							
1024x768	70.0	56.5							
1024x768	75.0	60.0							
1280x1024	75.0	80.0							
1152x870	75.0	67.5							

EDID (Digital)

HDMI 1/2 および HDBaseT (1.4b 用)											
B0/確立タイミング			B0/標準タイミング			B0/詳細タイミング		B1/ビデオモード:		B1/詳細タイミング:	
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	比率	解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]
720x400	70.0	31.5	1024x768	120.0	04:03	1920x1080	60.0	640x480p 4:3	60.0	1366 x 768	60.00
640x480	60.0	31.5	1280x720	60.0	16:09			720(1440)x576i 4:3	50.0		
640x480	66.6(67)	34.9	1280x720	120.0	16:09			720(1440)x576i 16:9	50.0		
640x480	72.0	37.9	1280x800	60.0	16:10			720(1440)x480i 4:3	60.0		
640x480	75.0	37.5	1280x1024	60.0	05:04			720(1440)x480i 16:9	60.0		
800x600	56.0	35.1	1440x900	60.0	16:10			720x576p 4:3	50.0		
800x600	60.0	37.9	1400x1050	60.0	04:03			720x576p 16:9	50.0		
800x600	72.0	48.1	1600x1200	60.0	04:03			720x480p 4:3	60.0		
800x600	75.0	46.9						720x480p 16:9	60.0		
832x624	75.0	48.9						1280x720p 16:9	50.0		
1024x768	60.0	48.4						1280x720p 16:9	60.0		
1024x768	70.0	56.5						1920x1080i 16:9	60.0		
1024x768	75.0	60.0						1920x1080i 16:9	50.0		
1280x1024	75.0	80.0						1920x1080p 16:9	24.0		
1152x870	75.0	67.5						1920x1080p 16:9	30.0		
								1920x1080p 16:9	50.0		
								1920x1080p 16:9	60.0		
								1920x1080p 16:9	120.0		
								3840 x 2160p 16:9	24.0		
								3840 x 2160p 16:9	25.0		
								3840 x 2160p 16:9	30.0		
								4096 x 2160p 256:135	24.0		

追加情報

HDMI 1/2 および HDBaseT (1.4b 用)											
B0/確立タイミング			B0/標準タイミング			B0/詳細タイミング		B1/ビデオモード:		B1/詳細タイミング:	
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	比率	解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]
								4096 x 2160p 256:135	25.0		
								4096 x 2160p 256:135	30.0		

オーディオ形式

オーディオデータ
フォーマット
LPCM(IEC 60958 PCM[30,31])

HDMI 1/2 および HDBaseT (2.0 用)											
B0/確立タイミング			B0/標準タイミング			B0/詳細タイミング		B1/ビデオモード:		B1/詳細タイミング:	
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	比率	解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]	解像度	垂直 [Hz]
720x400	70.0	31.5	1024x768	120.0	04:03	3840x2160	60.0	640x480p 4:3	60.0	2560x1440	120.00
640x480	60.0	31.5	1280x720	60.0	16:09			720x576p 16:9	50.0	1920x1080	240.00
640x480	66.6(67)	34.9	1280x720	120.0	16:09			720x480p 16:9	60.0		
640x480	72.0	37.9	1280x800	60.0	16:10			1280x720p 16:9	50.0		
640x480	75.0	37.5	1280x1024	60.0	05:04			1280x720p 16:9	60.0		
800x600	56.0	35.1	1440x900	60.0	16:10			1920x1080i 16:9	60.0		
800x600	60.0	37.9	1400x1050	60.0	04:03			1920x1080i 16:9	50.0		
800x600	72.0	48.1	1600x1200	60.0	04:03			1920x1080p 16:9	24.0		
800x600	75.0	46.9						1920x1080p 16:9	50.0		
832x624	75.0	48.9						1920x1080p 16:9	60.0		
1024x768	60.0	48.4						1920x1080p 16:9	120.0		
1024x768	70.0	56.5						2560x1080p 64:27	50.0		
1024x768	75.0	60.0						2560x1080p 64:27	60.0		
1280x1024	75.0	80.0						3840x2160p 16:9	24.0		
1152x870	75.0	67.5						3840x2160p 16:9	30.0		
								3840x2160p 16:9	50.0		
								3840x2160p 16:9	60.0		
								4096x2160p 256:135	24.0		
								4096x2160p 256:135	60.0		

追加情報

オーディオ形式

オーディオデータ			
フォーマット	eARC	ARC	LPCM
LPCM(IEC 60958 PCM[30,31]	✓	✓	✓
Dolby Digital	✓	✓	
DTS		✓	
Dolby Digital Plus	✓		
DTS-HD	✓		
Dolby TrueHD/MAT	✓		

追加情報

画像サイズと投影距離

4K 1.6x レンズモデル

希望のイメージサイズ						投射距離 (C)			
対角		幅		高さ		広角		望遠	
m	インチ	m	インチ	m	インチ	m	フィート	m	フィート
0.76	30	0.66	26.15	0.37	14.71	/	/	1.3	4.18
1.02	40	0.89	34.86	0.50	19.61	/	/	1.7	5.58
1.27	50	1.11	43.58	0.62	24.51	1.3	4.36	2.1	6.97
1.52	60	1.33	52.29	0.75	29.42	1.6	5.23	2.6	8.37
1.78	70	1.55	61.01	0.87	34.32	1.9	6.10	3.0	9.76
2.03	80	1.77	69.73	1.00	39.22	2.1	6.97	3.4	11.16
2.29	90	1.99	78.44	1.12	44.12	2.4	7.84	3.8	12.55
2.54	100	2.21	87.16	1.25	49.03	2.7	8.72	4.3	13.95
2.84	112	2.48	97.62	1.39	54.91	3.0	9.76	4.8	15.62
3.81	150	3.32	130.74	1.87	73.54	4.0	13.07	6.4	20.92
4.57	180	3.98	156.88	2.24	88.25	4.8	15.69	7.7	25.10
4.82	189.7	4.20	165.34	2.36	93.00	5.0	16.53	8.1	26.45

4K 1.6x レンズモデル

レンズシフト範囲 (ワイド)					
垂直イメージシフト				水平イメージシフト	
画像サイズ (対角)	垂直I + (最大) (A)	垂直 - (最小) (B)	垂直シフト範囲	水平 + (右)	水平 - (左)
インチ	シーエム	シーエム	シーエム	シーエム	シーエム
47.4	39.6	7.8	32	6.6	6.6
63.3	52.8	10.5	42	8.9	8.9
79.1	66.0	13.1	53	11.1	11.1
94.9	79.2	15.7	64	13.3	13.3
110.7	92.4	18.3	74	15.5	15.5
126.5	105.6	20.9	85	17.7	17.7
142.3	118.8	23.5	95	19.9	19.9
158.1	132.0	26.2	106	22.1	22.1
177.1	147.8	29.3	119	24.8	24.8
237.2	198.0	39.2	159	33.2	33.2
284.7	237.6	47.1	191	39.8	39.8
300.0	250.4	49.6	201	42.0	42.0

追加情報

4K 短焦点モデル

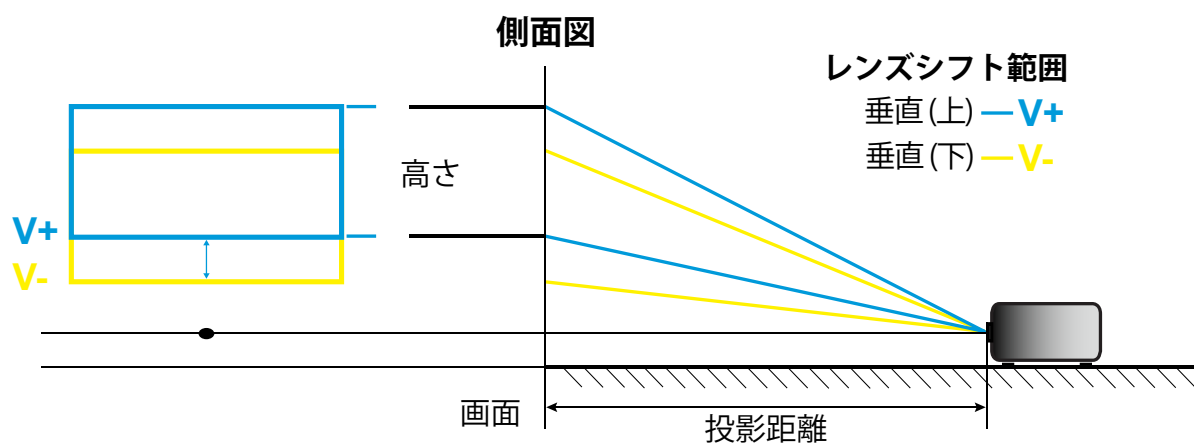
希望のイメージサイズ						投影距離	
対角		幅		高さ		広角	
m	インチ	m	インチ	m	インチ	m	フィート
0.76	30	0.65	25.4	0.40	15.9	0.37	1.2
1.02	40	0.86	33.9	0.54	21.2	0.50	1.6
1.27	50	1.08	42.4	0.67	26.5	0.62	2.0
1.52	60	1.29	50.9	0.81	31.8	0.75	2.5
1.78	70	1.51	59.4	0.94	37.1	0.87	2.9
2.03	80	1.72	67.8	1.08	42.4	1.00	3.3
2.29	90	1.94	76.3	1.21	47.7	1.12	3.7
2.54	100	2.15	84.8	1.35	53.0	1.25	4.1
2.92	115	2.48	97.5	1.55	60.9	1.44	4.7
3.81	150	3.23	127.2	2.02	79.5	1.87	6.1
4.57	180	3.88	152.6	2.42	95.4	2.25	7.4
5.08	200	4.31	169.6	2.69	106.0	2.50	8.2
6.35	250	5.38	212.0	3.37	132.5	3.12	10.2
7.62	300	6.46	254.4	4.04	159.0	3.75	12.3

4K 短焦点モデル

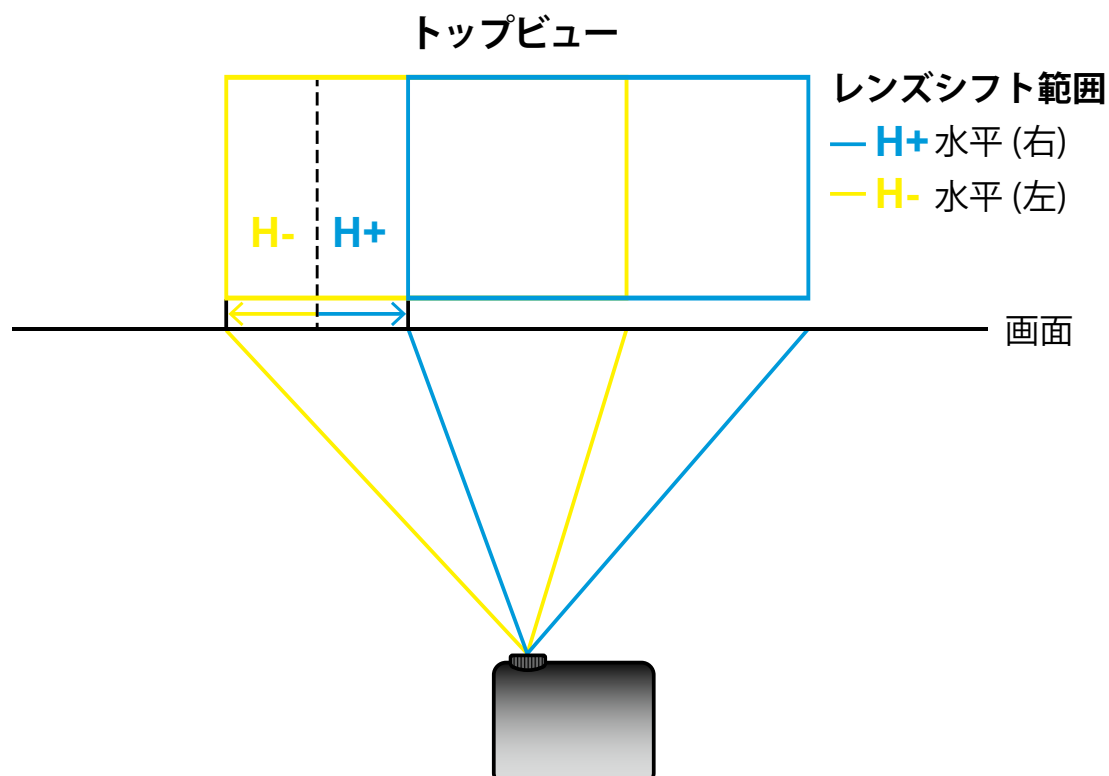
レンズシフト範囲 (ワイド)					
垂直イメージシフト				水平イメージシフト	
画像サイズ (対角)	垂直I + (最大) (A)	垂直 - (最小) (B)	垂直シフト範囲	水平 + (右)	水平 - (左)
インチ	シーエム	シーエム	シーエム	シーエム	シーエム
30	44	40	4.0	3.9	3.9
40	59	54	5.4	5.2	5.2
50	74	67	6.7	6.5	6.5
60	89	81	8.1	7.8	7.8
70	104	94	9.4	9.1	9.1
80	118	108	10.8	10.3	10.3
90	133	121	12.1	11.6	11.6
100	148	135	13.5	12.9	12.9
115	170	155	15.5	14.9	14.9
150	222	202	20.2	19.4	19.4
180	267	242	24.2	23.3	23.3
200	296	269	26.9	25.9	25.9
250	370	337	33.7	32.3	32.3
300	444	404	40.4	38.8	38.8

追加情報

希望のイメージサイズ:



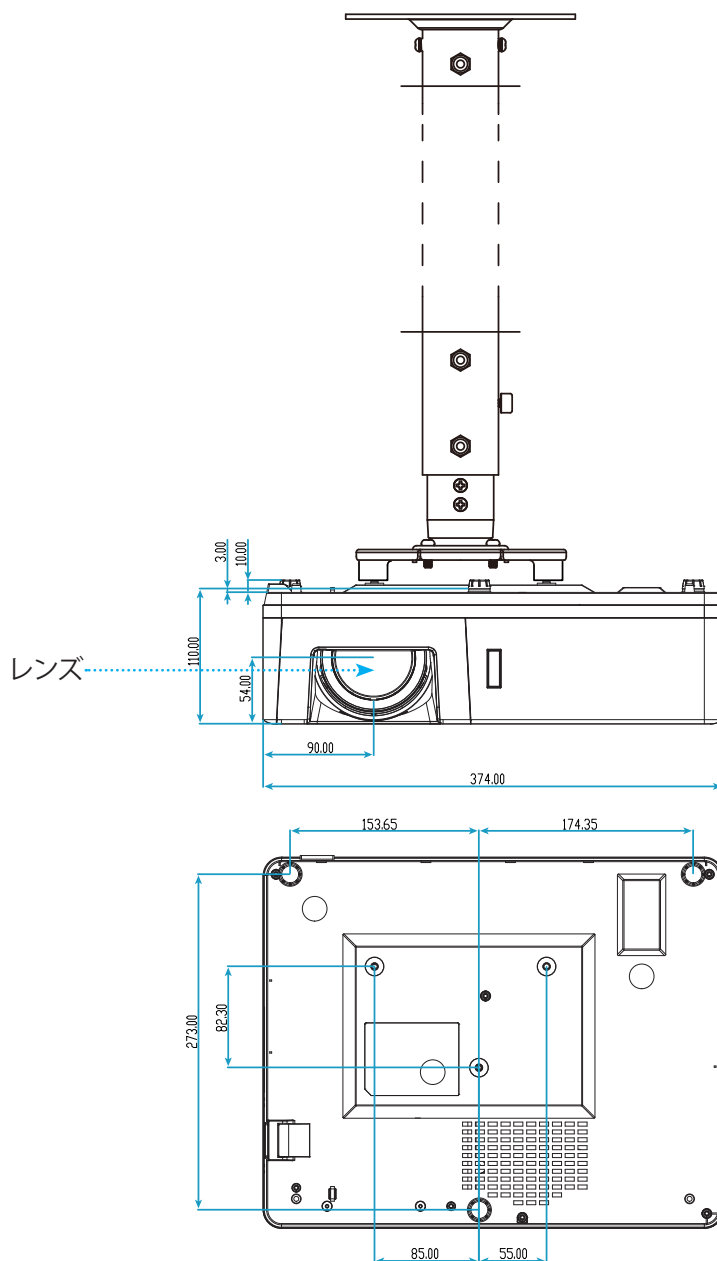
レンズシフト範囲:



追加情報

プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
 2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
- ネジの種類: M4*5mm
 - 最小ネジ長: 5 mm
 - 締め付けトルク: 8 Kgf.cm



単位: mm

注: プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

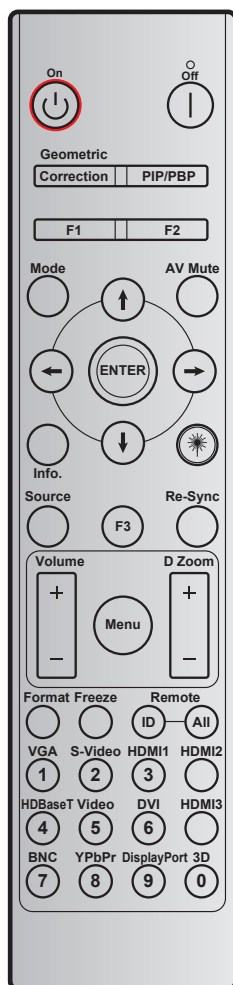


警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

追加情報

IR リモートコード



キー	印刷キーの定義	キーコード				繰り返し
		バイト1	バイト2	バイト3	バイト4	
		カスタマー 0	カスタマー 1	データ 0	データ 1	
電源オン	オン	32	CD	02	#/バイト3	F1
電源オフ	オフ	32	CD	2E	#/バイト3	F1
ジオメトリ補正	ジオメトリ補正	32	CD	96	#/バイト3	F1
PIP/PBP	PIP/PBP	32	CD	78	#/バイト3	F1
F1	F1	32	CD	26	#/バイト3	F1
F2	F2	32	CD	27	#/バイト3	F1
モード	モード	32	CD	95	#/バイト3	F1
4 方向選択キー (↑/↓/←/→)	上矢印	32	CD	C6	#/バイト3	F1
	下矢印	32	CD	C7	#/バイト3	F1
	左矢印	32	CD	C8	#/バイト3	F1
	右矢印	32	CD	C9	#/バイト3	F1
入力	入力	32	CD	C5	#/バイト3	F1
AV 消音	AV 消音	32	CD	03	#/バイト3	F1

追加情報

キー	印刷キーの定義	キーコード				繰り返し
		バイト1	バイト2	バイト3	バイト4	
		カスタマー 0	カスタマー 1	データ 0	データ 1	
情報	情報	32	CD	25	#バイト3	F1
レーザー *	レーザー	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソース	ソース	32	CD	18	#バイト3	F1
F3	F3	32	CD	66	#バイト3	F1
再同期	再同期	32	CD	04	#バイト3	F1
音量	音量 +	32	CD	09	#バイト3	F1
	音量 -	32	CD	0C	#バイト3	F1
D ズーム	D ズーム +	32	CD	08	#バイト3	F1
	D ズーム -	32	CD	0B	#バイト3	F1
メニュー	メニュー	32	CD	88	#バイト3	F1
フォーマット	フォーマット	32	CD	15	#バイト3	F1
フリーズ	フリーズ	32	CD	06	#バイト3	F1
リモート	ID	該当なし	該当なし	3201～3299	該当なし	該当なし
	全部	該当なし	該当なし	32CD	該当なし	該当なし
1 / VGA	1/VGA	32	CD	8E	#バイト3	F1
2 / S-Video	2/S-Video	32	CD	1D	#バイト3	F1
3 / HDMI1	3/HDMI1	32	CD	16	#バイト3	F1
HDMI2	HDMI2	32	CD	9B	#バイト3	F1
4 / HDBaseT	4/HDBaseT	32	CD	70	#バイト3	F1
5 / Video	5/Video	32	CD	1C	#バイト3	F1
6	6	32	CD	19	#バイト3	F1
HDMI3	HDMI3	32	CD	98	#バイト3	F1
7	7	32	CD	1A	#バイト3	F1
8 / YPbPr	8/YPbPr	32	CD	17	#バイト3	F1
9	9	32	CD	9F	#バイト3	F1
0 / 3D	0/3D	32	CD	89	#バイト3	F1
F3	F3	32	CD	66	#バイト3	F1

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 端子のピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- 画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。
(18 ページを参照してください。)
- 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。
(61 ～ 63 ページを参照してください。)

16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。
- 垂直ストレッチフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDで垂直ストレッチとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎるか、小さすぎる

- ズームレバーを時計回りまたは反時計回りに回して、投影される画像のサイズを拡大または縮小します。(18 ページを参照してください。)
- プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
- プロジェクターパネルの [メニュー] を押して、[ディスプレイ → アスペクト比] に進みます。別の設定を試してみます。

画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

画像が反転する

- OSDから [設定 → 投影方向] を選択し、投射方向を調整します。

追加情報

その他の問題

- ❓ プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します
 - 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。
- ❓ レンズシフトノブが (画像を上下左右に移動するために) 反応しなくなった場合は、次の手順に従ってください:
 - レンズシフトノブを押し込む力で時計回りまたは反時計回りに回します。これにより、保護メカニズムが解放され、再び機能できるようになります。(レンズシフトノブにはロック機能があり、破損を防止します。明確な音を発して、すでに限界位置に到達していることをユーザーに知らせます。)

リモコンの問題

- ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください
 - リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから $\pm 15^\circ$ 以上ずれていないことを確認します。
 - リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクタから 6 m (19.7 フィート) 以内に移動する。
 - 電池が正しくセットされていることを確認する。
 - 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

警告インジケーター

警告インジケーター (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

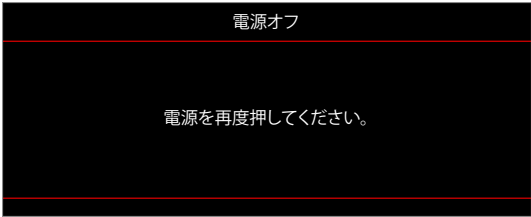
- [LD] LED インジケータが赤く点灯し、[電源] インジケータが赤色に点滅している場合。
- [温度] LED インジケータが赤く点灯し、[電源] インジケータが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- [温度] LEDインジケータが赤く点滅し、[電源] インジケータが赤く点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30 秒後に再試行します。警告インジケータが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

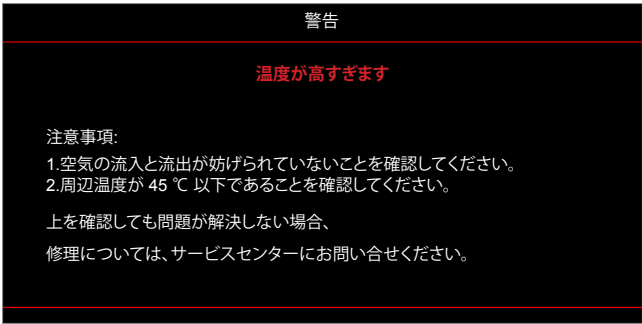
LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源 LED		温度 LED	LD LED
	(赤色)	(白色)	(赤色)	(赤色)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)		
LDのライトをオンにします		点灯		
電源オフ (冷却中)		点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン) 。冷却ファンがオフになると、赤色の点灯に戻ります。		
エラー (LD が異常です)	点滅			点灯
エラー (ファン障害)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

- 電源オフ:



- 温度警告:



追加情報

仕様

項目	説明
パネル解像度	3840×2160 (4K)
最大解像度	最大解像度: • HDMI(HDMI 2.0): 3840x2160 @60 Hz • VGA: 1920x1200 @60 Hz
レンズ	スロー比 • 4K 1.6x レンズモデル: TR 1.2 ~ 1.92 • 4K 短焦点モデル: TR 0.58
	F/#: • 4K 1.6x レンズモデル: 2.3~3 • 4K 短焦点モデル: 2.75
	焦点距離: • 4K 1.6x レンズモデル: 17.63 ~ 27.9 mm • 4K 短焦点モデル: 8.51 mm
	ズーム範囲: • 4K 1.6x レンズモデル: 1.6x • 4K 短焦点モデル: 固定ズーム
レンズシフト範囲	4K 1.6x レンズモデル: • 垂直: 106% ~ 126% ±3%、 • 水平: -10% ~ +10% ±3%
	4K 短焦点モデル: • 垂直: 106% ~ 116% ±3%、 • 水平: -4% ~ +4% ±3%
画像サイズ	4K 1.6x レンズモデル: • 30 ~ 300 インチ (メカニズム移動 (ワイド))
	4K 短焦点モデル: • 30 ~ 300 インチ (メカニズム移動)
投影距離	4K 1.6x レンズモデル: • 1.3 m ~ 7.8 m (メカニズム移動)
	4K 短焦点モデル: • 0.38 m ~ 3.75 m (メカニズム移動)
I/O	入力インターフェイス: • HDMI 入力 V2.0 x2、HDBaseT x1 • VGA 入力 x2、音声入力 1 x1、音声入力 2 x1
	出力インターフェイス: • HDMI 出力 x1、音声出力 x1、USB 電源 (5V/1.5A)、3D 同期出力 x1
	コントロールインターフェイス: • LAN (RJ-45) x1、RS232 x1、12V 出力 x1
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	水平スキャン速度: • 15 KHz ~ 140 KHz
	垂直スキャン速度: • 24 Hz ~ 140 Hz
スピーカー	15W x2

追加情報

項目	説明
消費電力	標準: (ブライモード) • 366W ±15% @110VAC • 355W ±15% @220VAC
	標準: (エコモード): • 240W ±15% @110VAC • 233W ±15% @220VAC
入力電流	• AC 3.7A @110V • AC 1.85A @220V
取り付け方向	360° 投影 + 縦置き
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	足を除く: • 374 mm (幅) x 302 mm (奥行) x 107 mm (高さ) (14.72 x 11.89 x 4.21 インチ)
	足を含む: • 374 mm (幅) x 302 mm (奥行) x 117 mm (高さ) (14.72 x 11.89 x 4.60 インチ)
重さ	6.3 kg±0.5 kg
環境	0° ~ 40°C、10% ~ 85% 湿度 (結露なし) で動作

注: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

米国

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

カナダ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

中南米およびメキシコ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

ヨーロッパ

1 Bourne End Mills
Hemel Hempstead
Hertfordshire
HP1 2UJ
英国
www.optoma.eu

 +44 (0) 1923 691 800
 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com

www.optoma.eu

サービスダイヤル: +44 (0)1923 691865

Benelux BV

Optoma Benelux BV
Europalaan 770 D
1363BM Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 8200 250
 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35
 savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro, 36 Of.1C 28529 Rivas
Vaciamadrid, Spain

 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32

ドイツ

Optoma Deutschland GmbH
Am Nordpark 3
41069 Mönchengladbach
Deutschland

 +49 (0) 2161 68643 0
 +49 (0) 2161 68643 99
 info@optoma.de

スキャンディナビア

Postboks 9515 Åskollen
Kriveveien 29
Drammen
3036
Norway

 +47 32 98 89 90
 +47 32 98 89 99
 info@optoma.no

韓国

<https://www.optoma.com/kr/>

日本

<https://www.optoma.com/jp/>

台湾

<https://www.optoma.com/tw/>

中国

Room 2001, 20F, Building 4,
No.1398 Kaixuan Road,
Changning District
Shanghai, 200052, China

 +86-21-62947376
 +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

オーストラリア

<https://www.optoma.com/au/>

